

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（182）
2. 日時：令和3年7月21日 13時30分～17時50分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全管理調査官、江崎企画調査官、藤原主任安全審査官、
三浦主任安全審査官、伊藤安全審査官、谷口技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 課長、他5名

原子力本部 土木建築部 部長、他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言を踏まえた原子力規制委員会の対応の変更について」（令和3年4月28日 第6回原子力規制委員会配付資料3）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- （1-1）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（防潮壁）（O2-他-F-13-0001__改2）（令和3年6月23日提出資料）
- （1-2）補足-140-1 【津波への配慮に関する説明書の補足説明資料】（O2-補-E-01-0140-1__改16）（令和3年6月23日提出資料）
- （2-1）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（土木耐震）（O2-他-F-19-0011__改8）（令和3年7月14日提出資料）
- （2-2）補足-610-20 【屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について】（O2-補-E-19-0610-20__改11）（令和3年7月14日提出資料）
- （2-3）VI-2-2-27 排気筒連絡ダクトの地震応答計算書（O2-エ-B-19-0159__改1）（令和3年7月14日提出資料）
- （2-4）VI-2-2-28 排気筒連絡ダクトの耐震性についての計算書（O

2-工-B-19-0160__改1) (令和3年7月14日提出資料)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。規制とフジワラです。じゃあ時間になりましたのでヒアリングを始めたいと思います。説明のほうお願いします棟クレーンで5先でございます。よろしくお願いいたしますと今回ですね膨張比ということで、6月23日と6月28日に説明させていただいてございますけども、その手の
0:00:18	四つほどAとコメント回答残ってございますので本日説明させていただきたいと思います。回答整理表のうちですね、8番、12番、17番36番が残ってございますので、まずそちらについて、
0:00:33	御説明をですね、まず統制させていただきたいと思います。よろしくお願います。
0:00:40	はい、東北電力の松永です。
0:00:43	ちょっと説明のほうさせていただきます。資料一番のコメント回答整理表のほうをお願いいたします。
0:00:50	最初に回答させていただきたいような2ページ3ページになりますけれども2ページのNo.8、それからNo.11-3ページのNo.11、この2件について説明をさせていただきますとNo.8につきましては、
0:01:08	構成者席の桁部につきまして
0:01:12	その地震時及び津波時に移行げたとそのRCの支柱のその衝突しない構造となっていると説明することということで回答欄の②番に記載してございますけれども、地震時津波余震時に1個も相対変位量を
0:01:29	算定しまして有価においがショートしない構造であるということを説明させていただきます。
0:01:35	それからナンバー11番、
0:01:38	No.11基ですか。
0:01:40	No.11番の、また以降になりますけれども下駄惜しいするRC支柱が変位した場合に高βとRC支柱が接触しないか等を今後説明することということでしてこちらについても解答欄の②番でございますけれども、そのRC支柱等、
0:02:00	工芸大変位置に接触しないということを説明させていただきます。
0:02:07	それでは資料②番の4394ページをお願いいたします。
0:02:19	4394ページになります。
0:02:26	最後のほうになります。
0:02:29	4394ページになります。
0:02:40	4394ページの参考資料13番、こちらがコメント回答の資料になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:51	こちらのタイトル、5桁処分における工芸と変形量についてということで下のほうに図がございますけれども、向性社製機構げたのをこちらのRC支柱等を下駄を支持構造の概要を示してございまして、
0:03:08	このRC支柱と焦げたかにつきましてはこのゴム支承を介して支持する構造としてございますので、こちらに有感が存在するということでこの変形量について整理した資料になってございます。
0:03:21	えっと次のページに取り合いの詳細図でございますが上の段がこけた-1と4下側に3号炉くということで工芸他のサイズが大きく2種類ございますのでそれぞれですね、若干クリアランスとが、
0:03:36	違うということでございましてそのげた一応につきましてはこの375mmというものを先方ございますけれどもこちらがこうげたがこれ以上変形すると焦げた投資水準との取り付け金具が接触すると。
0:03:52	いう状況でございます。また左上の図でございますけれどもこのRC支柱と来ええとこげたの間に150mmございますけれども、こちらがといふかなってございまして、こちらも
0:04:04	自己方向に桁が変形した際にこの150mm以内に収まっているかということを確認してございます。
0:04:10	ネットに3号炉雲を同様でございます。一応4396ページお願いいたします。
0:04:19	えっと解析ケースの表がございますけれども、壁軸方向と株式直交方向でそれぞれ確認してございましてええとこ壁軸方向加工げたとRC支柱が接触しないか、壁軸直交方向が下駄と損止水ジョイントの仕方が接触しないかということで、
0:04:37	今日限界ということでクリアランスのほうを記載してございます。
0:04:41	4397ページに今概念図ございますけれども壁軸方向の変形につきましては、鉛直それから水平のゴム支承がございますのでこのゴム支承の変形量が高 β の変形上に
0:04:57	なりますのでこちらの症のせん断変形量というものを確認してございます。それからし、下段の平面図でございますけれども、
0:05:07	株軸直交方向に対しましては、この水平支承の圧縮変形量、それから高 β の太田海等による変位変形量をこちらがの変形量を確認してございます。4398ページに市長の変形量の算定方法を記載してございます。
0:05:27	それから、4000、
0:05:29	399ページのほうに下駄の変形量の確認方法としまして、概念図を載せてございますけれどもこちらのとこう形態については所一応支援としたフレームモデルを用いまして評価者部位の変形変位量をこのモデルからの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:48	確認をしてございます。
0:05:50	4400 ページに評価結果ございまして、上が株軸方向ということで
0:05:57	戦線男子混焼のせん断変形量をデルタ ϵ_1 ということで記載してございますけれども、いずれの孔げたにおいても許容限界夕刊の中におさまっているということを確認してございます。とか備蓄直交方向につきましても一部ちょっと整理がございまして、
0:06:16	市長へと水平書の圧縮変形量、それからげたのおたわみ量変形量Aを求めまして5これらの合算値が夕刊の内数に収まっているということを確認してございます。
0:06:30	こちらのコメント回答につきましては以上となります。
0:06:35	続きまして、資料、
0:06:38	①番のコメント回答整理表のナンバー36 番をお願いいたします。
0:06:46	7 ページになります。
0:06:58	6 につきましてですがコメント内容としましては上りボーリング対策で
0:07:04	実施するセメント改良炉につきましてその水平方向の施工範囲の考え方がわかるように説明することというコメントでございました。こちらにつきまして回答内容ですが、
0:07:16	いやまとめ設計指針日本建築学会の指針にて示されている哲明の評価方法、それから、そこで参照されてる実験結果を踏まえて、レーシヨンの2分の1以上ということに記載してございますのでこちらの記載箇所が資料②番の4000、
0:07:35	331 ページになります。
0:07:42	4331 ページをお願いします。
0:07:49	はい。
0:07:50	あと、
0:07:51	こちらは4331 ページは参考資料の4。
0:07:56	の別紙こちらボーリングの検討資料の別紙になりますけれども、
0:08:02	この減って、
0:08:04	この前のページまでですねと入力津波水位に基づいて確認をしましてこないということから別紙ということで設計津波水位の0.5mの上振れを考慮した場合の
0:08:14	検討のまとめる資料でございまして、こちらのハッチングで記載してございますけれども、先ほどコメント回答の欄に記載した通り、
0:08:24	いや求め設計指針に基づいてメール深さでいいの半分のほうを施工は埋戻し幅を確保するということで記載してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:35	4334 ページのほうに、こちらの
0:08:40	埋戻し範囲の概念図、それから、Yamamoto飯んのとる下げの検討方法を記載してございまして、下に低エザキの検討方法という図ございますけれども、この2分のDというところでこちらの範囲を参照しまして、
0:08:56	当セメント改良等の埋戻し対策を2分の2以上を実施するというので記載してございます。
0:09:03	こちらのコメント回答は以上になります。
0:09:06	続きまして、資料①番、コメント回答整理表の
0:09:15	4ページをお願いいたします。
0:09:20	①番コメント回答セイヒョーもNo.17。
0:09:24	になります。
0:09:26	コメントの内容ですが傍聴筆記内に津波が浸水した場合の影響として、それをしんぐ解析の設計への反映設計範囲の必要性等を整理し説明することと、こととでございますけれども、
0:09:39	こちらについてコメント回答内容でございますけれども、この津波、ご提起させ設置される箇所における津波ですが、津波の周期が短く、時刻と高さに変化が、それとことでピークも瞬間的となっておりますので損スロッシング挙動にそれに伴う動水圧が発生しにくい状況。
0:09:59	ちょっと踏まえてスロッシング荷重については設計荷重として考慮しないということに記載してございます。
0:10:05	こちらの記載箇所が②番の4374ページになります。
0:10:18	4374ページをお願いいたします。
0:10:25	こちらの参考資料10番、送信荷重の影響についてと多い資料でございます。
0:10:32	こちらの文章を記載してございまして第3パラグラフのところに記載してございましてけれどもこの防潮僻地における津波はけについては、3分前後の滞留時間ということでトピックも瞬間的となっております。
0:10:47	そちらが次のページ4375ページ6ページに4ヶ所、2号機海水ポンプ市政放水立坑、それから3号機海水ポンプ室、3号機の放水立坑の入力津波のハケを示してございまして、
0:11:06	2号機海水ポンプ施設と上が全体の時刻歴はけでして、下がこのある時刻のところを拡大してございまして、この防潮平気下端OP+13.8というのが防滴設置位置の地盤GL面になりまして、
0:11:23	来ここを上回る時刻というのが約2.8分、
0:11:28	ということで、このような形で各4ヶ所分を整理してございます。
0:11:36	4374ページのところに記載してございましてけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:42	第 4 パラグラフのところでこういった
0:11:48	時々刻々変化するそれからその炉心挙動等制圧そういったものが発生しにくいということで、その深部荷重については設計を荷重として考慮しないということで従来通り先行同様の上ふさが図式での動水圧のみ考慮するということとしてございます。
0:12:06	続きまして、最後のコメント回答になりますが、等を回答整理表のNo.12 番。
0:12:14	でございます。3 ページになります。
0:12:18	ちょっとNo.12 番が防潮平気と防潮鉄の接合部の計算結果について説明することと、こととして、こちらの内容計算結果についてご説明をさせていただきます。
0:12:31	3991 ページをお願いいたします。
0:12:44	すみません 3993 ページです。
0:12:50	あと 3000K93 ページから傍聴で取合部の耐震強度に関する補足説明というパッケージになってございますと 1 枚めくっていただきまして配置図、構造概要ございましてええと、上の配置図でございましてけれども 4 ヶ所の防潮平気。
0:13:07	農地第 2 号機海水ポンプ室で第 3 号機海水ポンプ室につきましては、この紙面の上側にあります防潮で 2E 接合して当止水性を確保するということとしてございますのでこの 4 ヶ所について防潮で取り合い部が存在します。
0:13:23	その概要については下に推移でございましてけれども、防潮堤内背面補強工から張り出した RC 壁、こちらに鋼板を設置しまして、傍聴障壁と M 型ジョイントで接合するということで
0:13:39	いう構造になってましてこちらの RC 壁、それから鋼板についての来系統構造計算の結果をこの資料にまとめてございます。
0:13:49	1 ページ飛びまして 3996 ページをお願いいたします。
0:13:56	構造概要図になりますネット上に正面図、それから下に平面図でございましてけれども、車の平面図ありましてこちらの紙面の右側に防潮堤内背面補強工があるということになってましてそこに RC 壁がありまして、
0:14:11	これにこのさせ後半という方向感をアンカボルトで設置してこちらを防潮低の取り上げというふうに呼んでございます。
0:14:23	ちょっと後半につきましては上に正面図、それから右側に断面でございましてけれども、構造材等をリブによる保護をした後半構造となっております。
0:14:35	除去 3000 系計 17 ページに RC 壁の構造図ございまして、
0:14:45	四つの断面図でございましてけれども、
0:14:48	左上が当然方向ということで背面補強工から入らしてる RC 壁の状態でございます、右上が正面ということで全体で 3m の RC 壁でして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:03	赤い部分につきまして、
0:15:08	深い部分につきましてはえと壁 3mで、上のほうは 1.5mというふうなRC壁構造となっております。
0:15:20	4399 ページをお願いいたします。
0:15:24	4300。すいません 3000 計器 19 ページお話しさせていただきました。
0:15:30	評価方針に記載してございますけれども、評価項目としましてはRC壁鋼板アンカボルトについて確認するということでしてRC壁鋼板ともに短期許容応力度による照査それからアンカーボルトについても短期許容引張力、
0:15:45	許容せん断力に対する確認を行ってございます。評価フローでございますけれども、
0:15:52	こちらについては設計震動を設定しまして評価部位の照査ということでRC壁、それからあと後半単価ボルトの調達ということで、モデルをそれぞれもちますけれども、後半の静的フレーム解析から求まる支店反力を
0:16:10	RC壁の制定している解析にきついで、それぞれにコピーをよく評価を行ってございます。
0:16:20	人 4000 ページのほうをお願いいたします。
0:16:26	4000 ページのほうに評価計算を整理それから評価対象断面の整理ということで記載してございまして、評価ケースにつきましては地震時重畳時それぞれ確認してございますけれども、当重畳時につきましては津浪が内側から外側に採用しますのでそちらについて
0:16:44	赤字が最適になるということで、と重畳時については内側から外側で地震時につきましては町長の方が荷重として卓越しますので、地震につきましては外側から内側の確認を行うことで標高代表させていただきます。
0:17:00	評価対象断面でございますけれども全部で 4ヶ所ありまして、天端高さが 2 号機と 3 号機で変わりますので、その中で、2 号機と 3 号機の中で入ら市長に応じて荷重が大きくなりますので、林町の来②と④を評価対象断面に選定してございます。
0:17:22	4001 ページからずっとこういう地下、こういう周期の計算になりまして、
0:17:28	計算結果
0:17:31	ですが 4007 ページをお願いいたします。
0:17:37	4007 ページRC壁の固有周期の計算としましてはちょっと丸につきましてはTG となっておりますけれども、④、第 3 号機側ですけれどもいずれも交代判定という結果となっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:51	4008 ページから後半のこういう周期の計算となっておりまして、結果が4013 ページございましてこちらについてもえと剛体の判定となっております。
0:18:07	4018 ページに行か術を記載してございます。
0:18:15	こちらについて書えと正面ということで膨張比の外側と内側を左右に
0:18:22	山から海側を見ている図でございましてけれども、地震時につきましては外側からの舵を考慮した検討ケースで重畳時につきましては防潮駅の内側からの荷重を考慮したケースを実施してございます。
0:18:42	4020
0:18:46	3 ページからの評価方法ということで、
0:18:50	4023 ページからRC壁の説明となっておりまして 4024 ページにモデル図を
0:18:57	示してございます。
0:19:00	上が断面図社会平面図となっておりまして、この黄色ハッチングしている箇所が下の図で壁厚が 3mの間でその上が 1.5mの核となっておりまして、こちらの丸いメッシュ設定のところに設けてるのが凡例がございましてけれども後半から、
0:19:20	反力を入力する値というふうな
0:19:23	とモデルとしてございます。
0:19:30	いまして 4029 ページのほうをお願いいたします。
0:19:36	1029 ページのほうには鋼板のモデル図を示してございまして、こちらについても格子状のフレームモデルで計算のほうを実施してございます。
0:19:50	下に平面図でございましてけれども案をRC壁とさせ工法につきましては、アンカーボルトで接合してコンクリート面に密着させてる構造でございまして
0:20:04	アンカーボルトとコンクリートの面に対して境界条件を設けてございます。アンカーボルトについては引張方向にだけ抵抗するばねコンクリートにつきましては試行これだけ結構すればねということで評価条件のほうも設けてございます。
0:20:28	94031 ページに評価方法を、これは記載してございましてけれども、基本的には防潮平気Eと同様にですねTall挙手傍証に準じた端面午前の算出応力度照査の方法を
0:20:44	を用いてございまして、曲げせん断剛性応力の確認を実施してございます。
0:20:54	4035 ページから、アンカーボルトの照査でございましてけれども、こちらについても各種合成指針に基づいて接着系アンカーボルトとして確認の方法、実施してございます。
0:21:08	詳細の説明は割愛させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:14	4046 ページから評価結果ということで記載してございまして丸につきましては追而となっておりますけれどもある用については記載の通りデモを許容限界ということで環境力度の
0:21:30	におさまってるということ、地震時重畳時ともに確認をしております。
0:21:35	こちらの資料の説明は以上になります。
0:21:38	以上でコメント回答になります。
0:21:44	はい。説明以上ということで、じゃあ、
0:23:29	そういうこといいですか。一応第3号機海水熱交換器建屋、今日の多分説明内容ではないですね。
0:23:40	でもちょっと後で読んでみて気が付いたところがあったので、それに対する保護記載に関することなんですが、それをじゃあ今から進めるということでよろしいですか。
0:23:51	東北電力尾崎です。了解いたしましたのでセンターのほうで今建築の方っていらっしゃるでしょうか。
0:23:59	はい、東北電力の古林S、今の持ち合わせ最初の発言の方針ですべて聞こえてなくてですね、もう一度お願いしたかったんですがよろしいでしょうか。
0:24:13	さっきですけども、これからの熱交換系のウエキの御質問があるということで対応したいと思っておりますのでよろしく申し上げます以上です。
0:24:24	東北電力の古林です。承知しましたお願いいたします。
0:24:32	本当に環境ありますのでよろしくお願いいたします。
0:24:37	ですから、
0:24:41	どっち。
0:24:45	一方、
0:24:49	規制庁の谷口です。役者さんどうぞ。
0:24:54	よろしいですか。
0:24:56	はい、3754 ページのところに、
0:25:03	評価対象部位は書いてあるんですけども、
0:25:07	図の3-1です。
0:25:12	同じく3773 ページ。
0:25:16	これ両方を比較して見ていただくと。
0:25:22	3754 ページは概略対象を評価対象-Vの全体のイメージが書かれてると思うんですね。
0:25:30	だから平面図と正面図と評価対象の構成柱と差し引きの
0:25:42	収まりの絵が書いてあると思うんですけど、それはですね、これ溶接部のAとBという形に書いてあって溶接部が昨日話として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:51	書かれてるんですが、表現として、
0:25:55	ここは対象弁全体を示すところなので、
0:25:58	溶接部の部分の説明は 3773 ページのところで、溶接部の検討の結果を出されているというふうに思いますので、
0:26:09	ここの得意の証言を
0:26:12	ちょっと整理して見直していただけないかなと思います。
0:26:16	具体的にはどういうことかっていうと、
0:26:18	3773 ページにある経営部とBの水の
0:26:26	A部とBの言い分イメージが
0:26:29	対象部位になって評価されて、
0:26:33	ここの 3073 ページは、溶接部がどこになっててっていうような表現になるのかなと思うんですけど、いかがでしょうか。
0:26:43	ダイエー東北電力の小坂です。今の御指摘のありましたように評価対象部位の説明のIVでは評価対象部位の全体をお示しをして、実際の評価のところでの前の設備もですね詳細を示したほうが、
0:27:00	資料構成上わかりやすいと思いますので、今の御指摘いただいたところですね適切に資料のほうに反映していきたいと考えてございます。以上です。はい、すいませんがよろしく申し上げます。
0:27:14	それからですね 3775 ページ。
0:27:19	サイトウandイトウの商品が書いてあるんですけども。
0:27:23	アンカーボルトは基本的に今回のやつは接着系の
0:27:28	アンカボルトっていう形で、
0:27:31	されてるんですけど、これは今、こういう表現は今までも妥当一般的に書かれてる表現でしょうか。
0:27:43	そう。
0:27:44	はい、東北電力の小坂です。こちらのほう一般的に書かれていると思うんですけども他の資料とですね見比べまして、なるほどと違っている記載となっておりましてこちらのほうも適切にですね、修正延ばさせていただきたいと考えてございます。
0:28:04	以上にする。はい。これ具体的には、ケミカルとアンカーを使って使うというようなイメージになるのでしょうか。
0:28:13	具体的にはいない東北電力の小坂です。おっしゃる通りケミカルアンカとなっております。以上です。はい、わかりました。
0:28:22	それからですね 3769 ページ。
0:28:39	その証言の中で、ビーム要素という表現があります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:44	で、
0:28:45	ビーム要素という表現があるところと、はり要素と書いてあるところと、実は混在してるものは、このぜ。この辺りの表現で、
0:28:55	いろいろ沢山あります。
0:28:57	で、基本的にビーム要素と梁要素っていうのは同じものをイメージしてて、
0:29:03	こんなしてる状態があるというふうに思いますけれどもいかがでしょうか。
0:29:09	ドイ東北電力の小坂です。はい。申し訳ございませんでしたの押しいただいた通りですねとこでしている部分がございますので、こちらのほうも表現統一させていただいてですね修正のほうをさせていただきたいと思います。以上です。はい、よろしくお願いします。
0:29:34	はい。
0:29:35	それから 3846 ページ。
0:29:42	えーっとですね止水ジョイントところまでいってしまってもいいですかね。
0:29:48	止水ジョイントについては、
0:29:51	米側とM型ジョイントと二つ。
0:29:55	出てきます。
0:29:57	それで、
0:29:59	申し上げます。東北電力の古林です。こちらの最後に作るべきではなくてしまう法的にも、
0:30:06	もしでしょうか。
0:30:17	これも続けてやらせていただきます。
0:30:21	いいですか。
0:30:24	電力の古林です。もう一度掲示板お願いしてるしでしょうか。はい。3846 ページです。
0:30:33	本日、
0:30:38	止水ジョイントの設置の概要、これは
0:30:43	浸水防護施設に関する補足のところの説明になります。
0:30:50	ここですね。
0:30:52	水平方向にはΩと思えば型のジョイント、
0:30:58	それから、縦のここにはM型ジョイントが
0:31:02	はいされてると思いますが、
0:31:07	米欧とΩ型のジョイントの部材詳細なイメージが
0:31:12	書かれていませんが、具体的には、
0:31:16	3849 ページ辺りには、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:21	山形の乗員と書いてありますけれども、ωごとのジョイントの対象者がありません。
0:31:28	で、
0:31:30	だけど、実際、表現のところではお目だと元と両方書いてありますので、
0:31:37	Ω型についても、
0:31:39	部材詳細の記載を、
0:31:41	していただければと思いますけどいかがでしょうか。
0:31:48	松永でございます。3846 ページの杭基礎構造の防潮域の市場にイトウとΩ型のご質問でございますけれども、ちょっとΩ型ジョイントにつきましては低血糖こちらの
0:32:05	同じ防潮平気いいのですねと鋼板等を、このフーチング、一体構造となつてございましてこちらのこの鋼板とフーチングをちょっと固定せずに今分離するというのでその
0:32:21	と隙間のΩ型ジョイント、止水性を担保するためにΩ型ジョイントを設置してございまして、主に地震時にそれをコード間での相対変位が設置するところにはM型ジョイントを設置するというでございまして。そういった観点ちょっとこの資料についてはM型ジョイントの確認を実施してございまして、
0:32:41	Ω型ジョイントについては試験、
0:32:43	この資料をちょっとここ、この機能資料にはないんですけれども、その試験自体は実施してございましてと許容変位量としては 50 右E2E水準できるということを確認してございまして、こちらの鋼板とフーチング間につきましては
0:32:58	基本的には微々たる変容しかないということでもっとこの資料には載せておりませんでしたけれども、そういった趣旨でこちらの資料にこのアメリカ型ジョイントの位置付け、それから
0:33:15	評価を省略できるということについて、
0:33:19	この資料の中でわかるように記載を追記したいと思います、回答になっておりますでしょうか。
0:33:29	イメージとして、
0:33:31	が設置の概要のところに関係する部分の全員との詳細も書いてあるので。
0:33:40	今 3849 ページのところにも、
0:33:43	具体的な部材照査を変えて入れてしまえばいいんじゃないかなと思ったんですけれども、
0:33:50	評価は、M型ジョイントしかしてないってことですね今おっしゃってることは、
0:33:56	この松永ということで、
0:33:58	評価手法M型のジョイントのほうだけを実施してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:08	うん。
0:34:10	でございます。
0:34:11	今ほどですね、それが申し上げた申し上げました通り、まずその考え方は記載させていただいた上で、ここへと探って 49 ページに留め型の図もですね、ちょっと入れさせていただければと思います。以上です。はい、よろしくお願いします。
0:34:27	それで、今話の中でですね、M型ジョイントとΩ型ジョイント加工重なり合う部分が出てくると思うんですけど。
0:34:38	この交差部のイメージっていうのは、
0:34:42	というような表現をされてるんでしょうか。
0:34:47	当東北電力の松永でございます。
0:34:50	ちょっとカタギリ分につきましてはこの 4384
0:34:55	846 ページのこのちょっと丸 2 部詳細ぐらいしかちょっとないんですけども、ちょっと設置許可の際にですねこの止水性を確保するために、金型を十字の金型を設置しましていた設計しますという説明をさせていただいてございますので、
0:35:14	そちらについてもちょっと席低下して説明を時させたいと思ってございます。はい、言葉的にも詳細設計になっているので、ある程度の摩耗を様にもわかっているとと思うので、
0:35:28	返していただければと思います。
0:35:31	おく電力の松永で承知いたしました。
0:35:55	まず、
0:36:07	東北電力の松永です。
0:36:09	イトウ今子供の内容につきましては
0:36:13	ちょっとこちらの 6.3. 10 もしくは
0:36:18	資料にないんですが、被水試験等を実施して水準との体系性とかその辺を説明している資料でございますので、そちらのほうにちょっと入ってるかちょっと検討して
0:36:31	お願いします。
0:36:35	では、これ私、ちょっと一つ経緯でですね。
0:36:41	3882 ページ。
0:36:47	ここにいました。今回の新止水ジョイント部の変形量の許容限界があって、
0:36:55	基本的に 550。
0:36:57	というのが
0:37:01	実験の結果から決めた許容限界というような表現になっているんですけども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:10	試験の確認した。
0:37:13	結果というのは別の資料で載せ載せてるんでしょうか。
0:37:18	東北電力の松永でございますが、そちらにつきましてはこの今のご覧いただいている資料が 636.3. 重要になりまして 6.3. 9。
0:37:29	作って、
0:37:31	このヒアリングで系統ではなくですねこの前回 4 月のヒアリングでちょっと説明させていただいた資料に入れてございまして今回この資料にはついておりませんが、6.3. 9 という形で入って、
0:37:45	いただいております。3.9 のほうで説明されてそれを引用してることですね。
0:37:51	はいえっと、この
0:37:55	3882 ページの 1 行目ですかの上の文章に書いてるんですけども、ここでは参照してございました。6.3. 9 申し訳の止水ジョイント部材及びシール材についてというこの資料で試験の方実施した結果を説明。
0:38:12	ました。はい。
0:38:13	わかりました。
0:38:19	規制庁の三浦です。ちょっと私の方向も何点かこれも本当に基礎だけです。3785 ページ。
0:38:33	えーとですねここで表 6-1 では耐震評価結果を示されてるんですが、
0:38:39	ここで構成ばり 1234 構成ブルスイッチに算定などを示してるかっていう実はありますか。
0:38:52	はい。東北電力の小坂です。こちらについてはですねシカのところのデザインがそれぞれ校正場に①②③に該当するかというところは、示してる図面が今、
0:39:07	抜けておりましたので申し訳ございませんでした。こちらについてはですねどちらの部位になるかわかるような形で所住民の方ですね追加させていただきたいと考えてございます。以上です。はい。規制庁のメールすお願いしますのところの照査結果っていうのがちょっと明確になるようにしておいてください。
0:39:27	それと、
0:39:29	3822 ページ。
0:39:34	なんですけど、ここで、
0:39:37	先ほどちょっと話がありましたコーセイ社製きい溶接部の図があるんですけど。
0:39:44	これが、
0:39:45	3773 ページ。
0:39:54	ここにやはり数社水液の溶接部の図があるんですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:59	これを見比べると、
0:40:02	右上の。
0:40:04	間柱溶接部のところのⅡが違うんですけど。
0:40:10	多分同じものですよ。
0:40:13	どうでしょうか。
0:40:17	はい、東北電力の小坂です。
0:40:23	キクチ
0:40:31	少々お待ちください。
0:41:11	東北電力の小坂です。廻谷申し訳ございませんでしたこちらの同じ図となつてございまして、
0:41:22	すみません 822 ページのほうの
0:41:28	次が間柱といわゆる溶接部になってございまして、
0:41:34	うーん。
0:41:36	住宅部のところを示してございます。3773 ページのほうが同じ場所を指しているんですけども、右側のほうがましようということで承認されておりましたこちらの非常に適切にございませんでしたので、こちらの修正させていただきたいと。
0:41:54	思います申し訳ございませんでした。すいません今別途間柱この右上盗ま柱と柱組んで支部平面図って書いてあって、3822 ページのほうは間柱溶接部っていう表現になってますよね。これ何か意味があるんですかと。
0:42:14	特に意味がない。3873 ページのほうにそろえるという理解でいいですか。
0:42:21	あと、
0:42:23	はい、東北電力の小坂です。前んや。
0:42:29	773 ページの記載にはい統一させていただきたいと考えてございます。以上です。わかりました。それとそのときにですね
0:42:39	3822 のほうを見ると、左側の平面図のほうを見て、これ段目の記載漏れてるので。
0:42:48	わかりますよね。kA正面図ということで、平面図のほうにもどこが進歩購入とこがなのかっていう図が 3873 ページのほうにありますよね。3822 ページのほうはそれはないのでそれも追記していただけますか。
0:43:06	はい。
0:43:08	サイトウ口区分赤坂ですはい承知いたしましたの申し訳ございませんでした。はい、よろしくお願いします。ハート 3840 ページ
0:43:20	それから 42 ページ。
0:43:22	なんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:24	ここの物資死亡調定な防潮壁の構造図っていうのは、
0:43:33	3790 ページ
0:43:38	この設 38903792 ページ、これも全く同じ仕様ダブって入ってますよね。
0:43:48	これは後半のほうは出版と削除という理解でいいですか、ちょっと資料構成にも関わると思うんですけど。
0:43:57	やはり東北電力の小坂です。こちらの図面につきましては耐震棟強度とですねそれぞれ同じ図面を見せているということで、もうちょっと書が別なということで同じ図が、
0:44:12	だぶりの定員ですけども、耐震本人も同じように設定一定強度のほうにも同じように載せているということで、そういう状況となっていました。規制庁の許すわかりました耐震強度で別な経産省から同じだけど、もう一度入れたということですね。了解しました。それで結構です。
0:44:38	あとそれとですねちょっとこれは3号機海水熱交換機家庭用とちょっと離れちゃうんですが、
0:44:46	ちょっと以降教えていただきたいんですが、
0:44:50	4141 ページ。
0:44:54	ここで増し点検モデルの傍聴を平均モデル等あと二次元FEMの
0:45:01	そのモデルが示されてるんですけど、このビーム表層ってどういうふうモデル化されてるんですが、このビーム要素は何に基づいて設定されてます。
0:45:15	東北電力のさまで少々お待ちください。
0:45:23	お待たせしました 4200。
0:45:28	18 ページにモデル化の説明をしています。
0:45:34	4218 から 19 にかけてでございますけれども、4219 ページの右上に検討用モデルの構造概要ということで示してございまして、その下にこの平面図でございまして、
0:45:50	文の杭それからフーチング
0:45:55	それから上部工の構成式後半、こちらの断面諸元を 4210、
0:46:03	8 ページの下の概要でございますけれども、者からコーキングの証券それからフーチングペDESTALの緒元それから構成式後半の諸元という形で日本のフィリピン要素として条件のほうを与えて答えました。
0:46:21	規制庁の梅田です。わかりました。ちょっともうちょっと詳細に評価してください。交換後は1本の取り出してる。
0:46:29	特に車田先生。はい、日本ですとフーチングの幅っていうのはどういうふうにとってですが、これ報告有機っていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:38	4219 ページのこの網掛けしてる部分でございますけれども、3m、それから結構 3mを図書で条文は、これは、
0:46:49	ずっと上のほうの質点系モデルありますよね、これの
0:46:53	どの部分を取り出します。
0:46:56	すいませんと 4141 ページにつきましては、超す点検モデルについては作って例示をしておりますとこれこれと直接この 4219 ページのちょっと概要は一致しないんですけれども、
0:47:12	ビーム要素としましては、1 本分の構成支援それから 1 本当たりの 3 メーター分の後半のため 2 次モーメントをと神戸にハグ係数を与えてモデル化してございました。
0:47:27	規制庁の目指すあれなんです、
0:47:31	要するに質点系の解析結果モデル化から求まってきている剛性とかを入れてるわけじゃなくて、部材そのものを性能入れてるっていう理解でいいですか。ほかはいえっと、その通りでございます。
0:47:43	どうもありがとうございます。今の理解できましたので、
0:47:48	あとそれとですね、ちょっとこれ計算書を見さしいただいて少し気になったのがですね。
0:47:55	正義高 β とか、今回防潮ととか様々な構造物の御説明扉も話もありましたんですけど。
0:48:05	これの西北のこういう周期が言うとはつきが大きいなそのものによってたんですけども、それは当然なんです形が違うんで、
0:48:16	荷重組み合わせを正側の 1.0、鉛直方向 0.4 ですべてやられてますよね。
0:48:26	特にこの松屋の防潮平均の鋼板とか高 β につきましては時刻歴応答解析で生徒に直の同時入力で硝酸放置してございます。これをですね防潮平均攻撃とかを
0:48:41	水平鉛直同時入力なんですか。
0:48:44	この質点系モデルに対しましては、同時入力で非常に例えば、今 1.00. 4 の組み合わせでやってるものとどういものがあるんですか。Headですね。
0:48:59	こちらにつきましては先ほど説明をさせていただきました。
0:49:03	もうちょっとNRC張り出し壁について、それから、
0:49:11	工芸たのですねすいません。
0:49:16	げたも全体系での地震応答解析については、同時によくとしてございまして
0:49:23	どう陣容から求まった加速度に対しまして下駄ですとか扉につきましては別途静的フレーム解析で照査をしておりますと際には組合結論をつけてござ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	います。そうですね、質点系モデルでは同時入力で作ってあって、そこから算出された水平
0:49:43	インド等加速度から求めているんでしょうけど、水平地震動と鉛直震度でこれで今度応力解析モデルを持ってたときにはそれを 1.0 と 0.4 の組み合わせでチェックするっていうふうになってますよね。
0:49:55	その通りでございます。1.0 と 0.4 で何か検証されてます。
0:50:03	少々お待ちください。
0:50:08	規制庁ニュースちょっと気になったのが、いずれも下げのいただいに鉛直と水平方向、
0:50:14	ECTを見るとですね、鉛直方向と非常に探傷器だと思うんですよ。ほんでガイドする水平方向のは例えば高β等見てみると、当然負担もないので、
0:50:28	結構長周期のものがあったりして、そうすると、長周期のものと、短周期のものを地震動がそういうふうな特性もちゃうと、1.0 と 0.4 と組み合わせていくのはちょっと厳しいかなと思って見てたんですが、その辺何かこう、
0:50:45	考えられて、何か検討されてるってことはないですか。もしもいつもそれ。
0:50:51	検討しなくても 1.0 と 0.2-4 でいいんだっていうようなことを
0:50:56	は何か御説明できます。
0:51:00	そこで肉の松永でございます。
0:51:03	ちょっと今日のこの現状を御説明してる資料の中にはちょっとその辺の具体的に説明しているものでございませぬけれども、政党鉛直の同時性ですとか、ちょっとその辺、県当社結果を御説明
0:51:19	と思います。
0:51:24	ちょっと 0.0 で低温の組み合わせが入るかどうかとちょっとよくわかんなかったんですけど。うん。
0:51:32	ちょっと
0:51:35	少し検討していただいたほうがいいかもしれませんね。
0:51:40	このサワナベ承知いたしました。
0:51:43	あとそれとですね、もう 1 個、これも全体に関わることなんですが、
0:51:49	フーチング等とかあとRC柱でねじりモーメントに対するチェックってされてますよね。
0:51:55	その時にそのねじれモーメントって最終的には何か何とかなの資金に基づいてってことなんですが、
0:52:03	イワダテ金とか預金で取ってくるということになると思うんですが、その応力等、例えば曲げ、せん断曲げプラスチック力の照査結果っていうのはプラスアルファはってされてますも別々のチェックをされてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:19	東北電力の松永で鉄塔マーケットねじれによる
0:52:24	やっぱり応力の確認を
0:52:27	実施してございまして国会の提出する資料では定義となつてございませうけれども、今後お示しする費用としましては、曲げで出た、2 事例の足し合わせた結果というのをお示しようと考えております。
0:52:42	わかりました。
0:52:43	じゃあ後日それを含めて提出していただけるってことですね、ちょっと今までのここまでの資料見てるとが見えなかったもので、ちょっと気になりました。はい、お願いします。
0:53:01	東北電力の小坂ですけれども、相談の皆さんの方からこういう等ございました三枚熱交防潮域のところ、1 点をちょっと誤った回答してしまうところがありましたので、そちらの訂正をさせていただきたいと思いますが、今、よろしいでしょうか。はいどうぞお願いします。
0:53:21	はい。それでは先ほど御指摘いただきました。
0:53:27	3822 ページの次になるんですけれども、
0:53:36	こちらの図 4-5 ということで、先ほど右上の平面図のところ、耐震状況の整合とれていないということでご指摘いただいたんですけれども、こちらがですねまず 3822 ページのほうは強度計算書のほうになってございます。
0:53:55	こちらの溶接部が左上の平面図に書かれているまるで囲ってMB部シームということで3ヶ所、まだ以上でございまして、そのうち水圧がAc内側からこう外側に向かって、
0:54:11	困っていくような方向で営推扱ってございまして、溶接部としてですね溶接部に力がかかるのは、縁部左上のAMということになってございまして。そういったところで 3822 ページの
0:54:28	冒頭の文章の最後の行のところ、AMを評価対象部位とするということで、Ma抗体処分 2000 ことにしてございまして、そちらの詳細ということで右の前本示してございまして。
0:54:45	ですので、こちらの 5 というところは丸で囲ったところで左がな柱で右側溶接部という記載載ってございまして、こちらまずあの整合とれているものになってございまして。一方で、
0:55:01	33773 ページをお開きください。
0:55:07	一方で、
0:55:09	こちらのほうは耐震の計算書等になってございまして、耐震のほうの地震力でございまして、内側と外側両方向に力がかかることになってございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:23	今深部でここ撮りますの柱の部分につきましても、場所のほうに所制御押し付ける方向だけではなくて、花量とする力もわかってございますので、
0:55:37	そういったところの溶接部にも力がかかるということで、CisパンのっていうのはPPRC部というところも評価対象部位として選定してございます。
0:55:47	ですので右上の平面図といたしましては、評価対象部位の所漏えい詳細に示しているということで、支部のところを示してございますので、こちらは左のほうな間柱で右の場所ということで、
0:56:02	もしも中なんで、ここまでいった部分を評価ということで通行もあわせております。ですね図はどちらもですね評価対象部位を示しているということで、整合がとれてございますけれども、規模がですねどちらも担っていたりわかりにくいところがあったので、
0:56:21	こちらの方がですね、わかりやすいように記載のほう適正化させていただきたいと考えてございます。以上でございます。はい、規制庁のメールするどうもありがとうございます。私の方の勘違いですか。強度計算書の溶接部分が出てからまずは正しいということですね。
0:56:38	すいません側、今言ったような無理のない範囲で、記載の訂正をお願いします。
0:56:45	承知いたしました。
0:56:48	はい。今年からは以上です。
0:56:57	すいませんがちょっと5分ぐらい皆さん戻ってこれまで休憩ということでお願いします。
0:57:02	はい、了解いたしました。
0:57:08	はい。規制庁フジワラです。Point回答に対する質疑を始めたいと思います。私のほうからちょっと確認が幾つかございまして、まず、
0:57:22	3518 ページをちょっと開いていただいて、
0:57:36	この前も言ったかもしれないですけどこの渡り部っていうものに関しては、要は強度評価、津波の荷重過渡時に何ですかね、この紙面の下からの水圧のみならず、トータルについてはそのやそれを回り込むような、横からの背圧も当然あると思うので、それはまた次回、
0:57:56	トータル部に対する評価ということでやっていただける、そういう理解でよろしいですか。
0:58:01	国連で御だけでございます。所等ございましてコメントいただいており、いただいておりましたので、次回お持ちして説明したいと思っております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:09	はい、規制庁浮上ですわかりました。では次側へと 1523 ページをちょっとお開きください。
0:58:22	同 1523 ページのほうでは、これあれですかね、防潮扉の側面のRC支柱間この青ハッチングで書いてあるところに対するマネー事例とか、いろいろな評価をやっていらっしゃると。
0:58:39	そうで、ここに書かれてるので。ちょっとあの確認なんですけども、この
0:58:46	ねじりモーメントとして
0:58:49	静水圧とか動水圧っていうのですねこのカーERC支柱ですか、採用するものも来て凍るされてるかがちょっとこの資料上ちょっと読めなかったんですけども、例えば
0:59:04	1521 ページとか見たときにですね、1521 ページの図の 2 次モーメントの評価っていうのはあくまでも
0:59:12	構成扉が作用する力のそのRC支柱の中心からそれぞれ時、
0:59:20	3521 です。
0:59:26	3521 を見ると、このねじりモーメントっていうのは、さっきの水圧によるねじりモーメント常に入っておらず、向性扉、
0:59:37	噴火なかなかねじりモーメントの力しか入ってないようで。
0:59:41	この辺ってどう考えられてるのかちょっと説明いただけますか。
0:59:47	はい、東北電力の松永でございます。
0:59:50	基本的にはですねと躯体た左から 10 月する荷重の中に日主に期待に採用する。
1:00:03	動水圧成分が含まれてございましてそれが一番端部のこの縦リブに採用した際のねじれの影響の確認ということでございまして、この
1:00:17	この
1:00:19	躯体コンクリート躯体にですね採用するのがこの柱と。
1:00:24	左のわずかな部分ということで自分小さいというふうに関業判断して今回については期待からの反力
1:00:38	そんな街道生活の成分含まれてますのでそれを考慮した計算を実施するということで次回ちょっと説明の方考えてございましたが、御説明でこの影響について確認して御説明したいと思います。
1:00:52	はい。規制庁フジワラです。3523 ページのそうですねこの平面図の左上の平面図のちょうどこの二つある支柱RC支柱のうち右っかわの方ですかね、こちらのほうは凸の赤いRCCですか、接続とやっぱ結構広い

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:08	3位で今ありまして、これにやっぱ水圧っていうのは均等にかかるっていうわけです、この少なかった水圧がこうねじりとしてやっぱりERCこの青いある指針に関わるような気がしますのでもしかしらこのRCC系が下のフーチングに
1:01:26	それでは接続されて本当に臨店の場みたいになってるのかもしれませんが、そういったとそもそもどういった構造になってるかどうかを含めて、どういった荷重消火栓やってるかちょっと説明いただけるとありがたいんですけど次回でよろしいですかね。東北電力の松川でございますと3522ページにつきましては、
1:01:44	ちょっと
1:01:49	下のですね等中段の荷重についてカッコ書きの下に記載ございまして先生活動性やつを作用させるということで考えてございますけれどもちょっと荷重の組み合わせのところがちよっと十分適切でないといえますかちょっと地震時ベースでのちよっと記載となつてございまして申し訳ありません。
1:02:06	こちら強度計算の説明の部分でして上の考慮する荷重はてるところにどう扱ったり、慣性力書いてございますけれども静水圧、それから統制やつ、こちらについても、上の水平方向荷重として考慮して計算のほうを、
1:02:23	実施するという方針としてございますので、こちらについては、セ計算のほうの結果での次回説明させていただきたいと思つてございます。
1:02:33	はい。規制庁じゃないですか次の皿はそうしてあとはどの部材に作用する荷重コール生活のあわせて或いは額なのかそれともそのRC支柱括弧接続ですかね、そういったのをちよっと整理ください。よろしいですか。承知いたしました。
1:02:50	はい。そして私の方から次と3925ページ。
1:03:02	3925ページからこれをこうやりたの。
1:03:08	話になってまして等、こういったっていうのはこれはあれですかね。
1:03:13	33925ページにあるような工芸の下にぶら下がってる矢板の話になっていると思います。
1:03:22	これって何か私はちよっと三山と言つてるんですけども、この公営と位置付けてなんですかね。
1:03:30	要目表でどう考えられてるんですかとかですね、これが津波防護の対象の
1:03:37	そのものであったらやっぱそういうふうなものが必要でしょうし、或いはそれが一つと添付計算書には添付書類として何か今はまだ示されていないような気がするんですけどそれちゃんと添付計算書として出すんですかとかいうのがちよっと今この資料だとちよっとわかりませんでした。その辺は、
1:03:55	整理をされている最中という理解でよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:58	東北電力の松永でございます。
1:04:02	こちらについてですね
1:04:07	そのためのヒアリングのところでいただいたコメント回答をさせていただいて、
1:04:14	おりましてちょっと超えたにつきましては添付計算書のほうに格上げをしようと思っておりますので、あと要目表の記載につきましては潜航サイトを遠野を超えてポイリング対策を記載する施設の扱いについて、
1:04:30	確認してございまして基本計算書のほうに記載するという目標のほうにはちょっと期待しないという方向で所説明のほうさせていただいておりますのでその方向で考えてございます。
1:04:44	はい。規制庁フジワラです。わかりました。
1:04:49	次を。
1:04:52	そうですね。
1:04:55	これ、
1:05:39	ちょっと、
1:05:44	その次にはと 3994 ページ。
1:05:51	防潮ていうとりあえずですね、ここについてちょっと確認させていただきますけれども、これもちょっと先ほどの位置付けと話すと一緒になんですけれども、ここは何か何ですかね。さっき言った要目表とか或いは添付書類としての計算書とか、
1:06:08	どうしてこれは何かどんな検討状況をちょっと説明いただけますか。
1:06:14	東北電力の松永でございます。こちらについても計算書のほうに現状入ってございませぬけれども、計算書として提出するということで考えてございまして、要目表につきましてはちょっとつけて検討してございませぬけれども低下する方向で考えてございます。
1:06:33	はい、局長です。わかりました。そう次へと 3995 ページ。
1:06:39	次被害をいただいてこの平面図の上からのほうの平面図に 5 回本の
1:06:46	そこなんですけど、ここの取り合い部①、傍聴低との接続部ですか、もうちょっとを見てるんですけど、ここんとりあえず①っていうのがいまいちこの資料上で示されてなくて、
1:07:01	何かゆっくりと回位斜めの線が入ってて、これってどういう構造なんだろうっちゃうのはわからなかったんですね、ここってどこか示されてますからもしもなかったらちょっと今後どんな構造活動等に示していただきたいんですけど、いかがですか。はい、東北電力の増川でセット
1:07:19	この資料につきましてですね択捉こちら 6 月のヒアリング資料で、ちょっと本日御説明させていただいております

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:28	今回③④3号側を対象にですね計算結果のほう示させていただいてまして①②については随時ということで次回のヒアリングで説明を予定しております、その際に構造図と、示して説明をさせていただきたいと思っております。
1:07:45	規制庁フジワラです。わかりました炊事結果8月の真ん中ぐらいですかあいつぐらいそれが出るかなとちょっと今、
1:07:56	東北電力の朝長で生徒8月の14日のヒアリングに今はい御説明させていただこうと思っております。
1:08:05	既設フジワラです。わかりました。
1:08:08	次の4001ページ。
1:08:11	開いていただいて、こっから先だねと。
1:08:15	そのモデル化の考え方がちょっと言う結構特殊な今までちょっと私が見かけたことない特殊な感じだったんでちょっと確認しますけども、この4001ページに書いてある固有周期ちゅうのは、これはRCC併記
1:08:31	ですかね、その単位の4002ページに書いてあるようなこれ後半の固有値解析場のモデルで、
1:08:41	この固有値解析というのはそれぞれ別個に何かモデルをつくってそれぞれで出していらっしゃるんですけども、実際の構造というのは、例えば3996ページを開いたときのように、一体の構造であって中を分ける意味って何か。
1:08:59	どこまであるのかちゅうのがいまいちとわからず、そこに説明もあまり書かれてないようでしたので、この分ける理由っていうのと、それが妥当なんですかというところについて何か説明っていうのはいただけますか。
1:09:15	東北電力の松永でございます。
1:09:20	今日を分ける目的としましては別個に解くことで止まんかボルトの反力等を抽出して消化のしたかったっていうような事情がございますけれども血糖RC壁自体がですね
1:09:39	1解析の結果の御抗体判定されてございまして、その通りに取りつく後半ということで別個別個に項1
1:09:48	解析のほうを実施しているということで計算としては問題ない。
1:09:54	あと支店反力については引き継いでRC壁の照査を実施するということで、
1:10:00	特に問題ないいい方法というふうに考えてございます。
1:10:06	東急というフジワラですね反力を出すっていう目的についてはわかりましたけども、いや私は金銭のそもそもこれが本当の真の状況を模擬できてるんですか。例えばこの固有値解析が本当に信頼できるんですか。いや、これで
1:10:22	もし仮に5妥当設定してた捕捉って本当に剛なんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:27	実際一体で解析したら5じゃなくなるってないんですかとかいろいろちょっと何か。
1:10:32	そこら辺の何か何ですかね、一体としなかった。次は分離することの妥当性というのはいまいちと整理がなされてなくて、
1:10:42	この辺は何かもうちょっと何かきちっと整理をしたほうが良いように思いますが、いかがですか。
1:10:49	東北電力の松永です。
1:10:52	はい。ちょっと記載しきれなかった部分とございまして例えば厚壁の当センターに当然のことですけれども後半の必要負荷をそう入れて、
1:11:07	これ近い設計をしていてその結果、自分相当小さい来周期ということで交代判定されているということも確認してございましてそういった部分を踏まえて頂部目的それから妥当性というところをちょっと少し整理して
1:11:27	追記のほうさせていただきたいというふうに
1:11:30	ます。
1:11:32	規制庁フジワラですね、今の佐藤 4003 ページの何かRC兵器が高高構造であるちゅうとを言われているのだとは思んですけども。
1:11:45	さっき質量だけで本当に御ペンノかちゅうのは、要は実際は非今のRCPのモデルよりもちょっと先端に、
1:11:53	実際質量とかあるのでそういった麦がちゃんとできてるんですが、いまいち見えませんのでその辺もあわせて今後整理いただきたいのはこうある刺激であると4008のところ後半ですか、この5構造についても、今、
1:12:08	この鋼板、例えば鋼板のみしか無理できないものに対して、もし仮にRC引きをつなげたらもうちょっと周期が伸びるとかそういうことはないかというのがちょっといまいちわかりませんので、鋼板及びRCPそれぞれについて、固有周期のだと。
1:12:26	設置説明いただきたいと思います。よろしいですか。はい、東北電力の松沼で承知いたしました。
1:12:33	はい。その次へと4000ページなんですけども、固有値解析モデルっていうのがですね、後半ですから、その境界条件をちょっと今、X方向とかY方向について書いていただいているんですけども。
1:12:48	そもそもどこが育成どこが悪いってどこがずっとなんかさっぱりわかりませんので、ちゃんと書いていただけますか、東北電力等もささと代表権のほうに挙げてございましたので、規制のほうをさせていただきます。
1:13:02	次へと4002ページをちょっと開いてください。
1:13:11	50004019 ページでした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:18	4019 ページこれ地盤物性のばらつきケースっていうのをなんかやっているんですけど。
1:13:27	私がいつも今見てるのは、ばらつきケースは何か通常のばらつき考慮した基本ケースに加えて、プラスマイナスの方のばらつきケースをやってるケースでたいのは見ましたので、
1:13:39	今回のやつ見ると何かマイナス安心放熱しかやってなくて、これって何か理由が何かあんまり明確にされてるんですけど、この理由って何ですか、或いはマイナスはシーマだけをやった理由というのは、説明ください。
1:13:53	はい、東北電力の松永です。ちょっと記載が、申し訳ありませんけど、基本ケースとプラスハンチングマイナス 8cmまで実施していて、加速度として一番大きかったのがマイナスは α ということで、この記載をしておりましたので、ちょっと検討係数についてドイ決したかというところをちょっと記載が自分で
1:14:13	なかったと思いますので撤去したいと思いますが、
1:14:19	同じくまでだったんではマイナス 3 のていうちょっと記載をしてございました。
1:14:39	規制庁のエザキですが、
1:14:41	全般的に資料としていえるのは基本的に言うとその結果ありきでも変えちゃっているんで、こちらのプレフェーズがわからないので、何でこの経緯になったのかっていうのが、
1:14:53	うん。
1:14:54	疼痛がこういう場所だけではなくて荷重を構造物を多様でもうそれは出席させていただいてますけど、そういったことがないように、全体的にもう一度その辺で見直していただいけませんでしょうか。さらに
1:15:09	東北電力として未定ですね、確認していただいて、
1:15:13	その趣旨を説明不足の部分がないとか、
1:15:17	答弁で御だけでございます。はい。初診ご理解理解いたしました対応いたしたいと思っております。以上です。
1:15:24	こちら本店の人間でございます。いただいたと思うと、全体的にある点検するように確認させていただきます。申し訳ございません。
1:15:35	はい。吸着じゃないです。この表多分添付経産省きちっと作成する段階でもっと綺麗になるんだと思うんですけど、テンプレその計算書作成するときはご注意ください。
1:15:47	ちょっとここで確認なんですけども、今ここで地盤のばらつきケースをやっているのはあくまでもこのとりあえず単独での評価に多分なるんかと思うんですけども、これで実際は防潮て 2 個の RC 僻地のなんかひつついてて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:06	実際に何か傍聴席と同じような挙動を示すような気がするんですけども、地震応答として何か防潮低と何か実際どんな感じになってるかと比較するのは、なんか或いは今のこの評価っていうのが、もしかしたら大分保守的にやってるのかそれがその比較の結果で示しそうな気もしたんですけど。
1:16:24	総点検をどのように考えてますですか。
1:16:29	はい、ちょっと東北電力の松永でございます。
1:16:33	はい。ちょっと少し検討のほうをさせていただきたいと思いますので、4022 ページに生値といいますかの事象と解析の加速度を記載してございますけれども、こちらについては設計指針としては
1:16:49	1Gをちょっと超えるぐらいのものを維持に丸めて当先のほうしてございますので、そういった融度等も含めて固定側の応答値との皮革そういったものを少し
1:17:05	確認。
1:17:07	そう。市民としてちょっと少し付け加えたいと思いますが、すみません、仙台湾のほうから何か補足等ございますでしょうか。
1:17:24	ただ、
1:17:25	特に羊蹄山を特に入れてこちらからはございません。
1:17:31	それでいいんだ。
1:17:33	すみません、今回の回答以上になります。
1:17:36	はい、旧町フジワラです。わかりました。はい、その次に行きまして 4029 ページを開いてください。
1:17:45	当 4029 ページをちょっと見たときにですねちょっとこれ私始めてみたんですけど、通常の何かアンカーボルトでいろんなものを固定してる時ちゅうのは、その固定の条件として代替中、境界条件は普通フィックスっていうか固定している状況が多くて、番地なく設定しようってあんまり見たことが、
1:18:05	ないんですね、あまり見たことがないっていうのはもっと先行実績あるんですか。
1:18:10	津浪ですけど、これって、
1:18:15	こういうばね値を設定しないといけないほどなんか本当に結果を使ったのかっていう、まあいろんな疑問もわくんですけど、今お聞きしたいのはこれで何か先行実績あるんですか、あと、これをばね値を使わないといけない理由って何かあるんですか。これちょっと説明いただけますか。
1:18:32	東北電力の松永でちょっと先行実績につきましては少し確認させていただきます。それからネット設計の思想としましてはこのアンカーボルトにつきましては引張側、つまり紙面の充実。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:51	下側ですね、に引っ張り時に抵抗して後半がですね等下向きにどうしようとするときに、やっぱりここにアンカーボルトがだけが抵抗すると、一方で上、紙面の上方向、者から津波作用方向ですけれども、
1:19:08	審査をする際にはアンカーボルトが
1:19:13	特に抵抗せずにコンクリート目に、10月するということでまああの実際の減。固定してしまいますがアンカーボルトのところに圧縮が生じるとか、ちょっと実際、実際ですねと反力を適切に表現できないということを考えまして実現象に近いということで、
1:19:32	コンクリート面に作用する場合にはコンクリートのバネ値バネを加えて時圧させて一方で株等に機器が出る際にはアンカーボルトのところだけに反力が出るように評価条件を設定したというのが考え方になってございます。
1:19:55	規制庁のエザキです。
1:19:57	多分ですね今フジワラが言っているのは多分、RCA機
1:20:01	のところをこうだと言っているので、固定点にしている。
1:20:06	普通はそう本体の
1:20:11	貯水後半。
1:20:13	固定としてフォルトしてる先端のところ細かいところですね、モデルのこの部分を完全固定、
1:20:22	にしてしまう。
1:20:24	失礼します
1:20:25	改定はフリーでしょうけども、そうした解析をしなかった理由は何ですかと聞いているので、ちょっと話がすれ違っているかなと思って割り込んだんですが、いかがでしょうか。
1:20:38	はい。東北電力の増永です。
1:20:42	はい。
1:20:45	次、
1:20:46	PIN条件にしてしまいますと、本来アンカボルト引張力抵抗しないんですけどもそこで圧縮側に抵抗してしまうですとかちょっとそういった時の実際の挙動とちょっと違うようなところが出てしまうだろうというところを考えて
1:21:02	こういった設定にしておったんですけどもそういったコピーした条件と比較等ですね、ちょっと実施してまたと設計ところについては福祉施設名保持させたいと考えてございます。
1:21:17	多分ですね、その荷重の方向で、多分固定休会で考えた場合には、その荷重の方向で圧縮はしっかりわかるはずなんで、それで判断できると思うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:29	それとも
1:21:32	分けたいのは、そう。
1:21:35	基本的には
1:21:37	兜自身は、基本的にはしくにあたってないから軽く妥当性解析的に行ってモデル化してるっていうのはわかるんですけど、でもそこには効かないわけですから、RCA気にかかるらしく厚さということで検討すればいいと思っていて、
1:21:54	これまでで評価するっていうことは、いわゆる
1:22:00	副納付
1:22:02	構成させる平均等を
1:22:05	ウエキ
1:22:07	農村接続から考えたときに、当然
1:22:10	うん。
1:22:12	RC平均の一番なんていうんですね、フリーになっているところ。
1:22:18	のところが一番固定してしまうと一番厳しくなりますよね、そういったところで、ある程度相場の剛性を考えて緩和させないといけない状態があったのかというのを我々としては疑念としてあって、そこまできつい質問なのかどうかということ、
1:22:35	いわゆる安全余裕として考えたときに、簡単に言うと、固定境界のほうにしてしまうと、さっき言ったようにですね。
1:22:42	ばねでモデル化するよりは境界条件で固定としてしまうと厳しいはずなんですけど、評価としてはそこまでやらざるを得ないような状況なのかどうかっていうことを聞きたかったっていうのが趣旨だと思います。
1:22:56	トーク電力の松葉でございます。
1:22:59	ちょっと勝てるで生産するに当たりましてケットなんかV-1 とこのコンクリートの縁端部でPPBモデル化した解析値一応検証を実施してございまして今実際実際としましてはコンクリートの剛性が大きくてですね、あまり減らさない。
1:23:17	いうところを確認しておるんですけども、ちょっとそういったものを少し3 参考資料的な形でちょっと検証のほう、付け加えさせて説明させていただきたいと。
1:23:30	規制庁のエザキです。
1:23:32	多分そちら考えたことっていうのBC兵器等看過ボルトが設置されて1 っていうのは大分ずれていて、そうすると総株主利益が圧縮場、
1:23:44	として働くところっていうのは接液
1:23:48	似たようになり入り込んでいるところで、完全にそのアンカボルトでとめているのはどっちかっていうと、
1:23:55	応札平気後半の一番。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:58	はちの端部に近いところを通っているの、圧縮と引っ張りっていうか掃気機能するバスをアベば近地項変わってくるので、それを基本的には、
1:24:09	評価済額までが必要だったモデル化としては必要だったという、そういう理解でしょうか。
1:24:16	僕電力でございます。はい。そういったはい。
1:24:20	所を積層としてはいこのような設定にしております。
1:24:31	規制庁のエザキです。そのときに、このRC平気に関してもあれですねこれちょっとわかりにくいんですけど、しっかりばゼロにしているという考え方なんですよねこれね。
1:24:41	東北電力の松永です。
1:24:45	重畳時につきましてはこの青、下から上に作用するときにはに圧縮入れてましてと地震時に紙面上から下に行くときにこのアンカーボルトの位置での引っ張りを
1:24:56	入力しております。
1:25:06	多分ですねこのモデルのコンセプトを少し書かないとわからないんですけど、モデル化として夫婦旅た市区ばコンクリートの接触面はアスクリだけ働かせて装荷墓地状態になってる部分を極力減らしているモデル化になっている。そして、
1:25:25	実態に御引張場になったときはこのアンカーボルトでとめているわけなんで酸化物の位置で引き止めているモデル化で現実的な値に置き換えている塗装的にはアンカーボルトは圧縮は期待していないので、引張だけ。
1:25:42	向こう性を与えているということが、
1:25:45	特にその辺が、現ツルカイ多分現実の実用の荷重の収益当行こ貯水構成鋼板とですね、力のやりとり、
1:25:56	実際の現実に合わせてやっているということが多分ずっと前の文章からだ、そこまで読み取れないから、多分そういう話になってるかなと思うんですが、いかがでしょうか。特に補足でございますので、おっしゃる通りでございます荷重の向きとかですねによってやはり話今お話を説明させていただきます通り、
1:26:15	このRCC液とかアンカーボルトにかかるような脳が負担する荷重低拡散変わりますので、機能変わりますので、どういう風が吹いたときにどういう働きをするのかっていうのをちょっと図で整理させていただいて、なのでこうモデル化にしていますという所わかるようにお示したいと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:40	抑制という風が降下登記はこういうふうにしかるこういうふうにかかったというのは、ボルトがしっかり働いて引っ張りは負担するといったものをしっかりちょっとお示していただきたいと思います。以上です。
1:26:55	ちょっとその辺りちょっとわかるようにですね。はい、したいと思います。以上です。
1:27:01	規制庁浮上する、ちょっと仲良くき電のほうで話がよくあるのかのアンカーボルトの、要は
1:27:09	ですからこのばね値がちゃんと実現できるものに関してはちゃんとし見つけ管理をちゃんとやっていくような方が生じないとか何かいろいろそういった話もあったのでちょっとそこはちょっと私神経質になって考えてるところありますように、ちゃんとここはそういった状態を模擬できるんで、私見つけ管理をやって固定常勤こちら倍違うできる条件、
1:27:29	ちょっと若干そこはちょっと注意している添付書類として出すんだったらやっぱそこら辺をちょっときちっと、考えておかないといけないのかなと思いますのでよろしくお願いします。いいですか。
1:27:44	なんで5先でございますでしょうかいたしまして施行と解析条件1性がしっかりとれているかどうかというところを説明できるように準備いたします。以上です。
1:27:53	はい。
1:27:55	はい。規制庁フジワラです。その次に機器ときますと、ちょっとは別の項目にくだいですが、
1:28:05	4374 ページ。
1:28:12	4371 今日説明あったんですかね、通信のところ、ここちょっとロジックだけの話なんですけども、今ですね、ちょっと何ていいですか。
1:28:25	この1234パラ目か。ちょっと誤解を招かないようにちょっと注意しないといけなかなと思っているのが今スロッシング荷重はまあ設計お金として考慮しないだけだとするとちょっと何か理由は何か非常にちょっと
1:28:41	何ですかそもそも津波と余震は重畳させるのに対し所掌しないといけない、要はここで前段階っていう内容確率論的な下降高も除外している方々に見えますので、先ほど口頭で何か説明あった通り、ウエスタがるでちゃんと
1:28:59	あと余震と津波の重畳させてそれをスターが上ちゃんと再現してるっていうのを最終的な結論とした上で、その一方でその恐ろしいというのは別途やってないというふうにちゃんと書いたほうが、
1:29:16	いいのかなと思ったんで、その点、
1:29:21	工程聞いたことは、スロッシング起きないって言ってんだよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:26	やはり、
1:29:27	それって、
1:29:29	確かにそう3秒という短い間
1:29:32	移送送信が起きないっていうことは多分また感覚的にわからないことはないんだけど。
1:29:41	新統等含めて考えたときに開けと次の8系統を考えたときに御説明ってできないんですかね。そ3秒間だけで去ったかってつって話ですよ。3分間防災3分間でっていう話なんで。
1:29:57	そう的にその地震等とかはけたどう考えるか、多分これあれですよ、SDとの重畳ということになると思うんですが、施設ではなくて、
1:30:08	そう返答続きこの聞いててちょっと気になっていたのはちょっと
1:30:13	はっきり今を出さないんで、確認とりたいんですけど、貯留堰、
1:30:19	貯留堰に期待して、重畳時とか組織リング考えてませんでしたっけ。他サイトではよく送信が考えてるんで貯留堰がここをどうでしたっけ。
1:30:31	そのロジックは変わらないですかって言うんですよ。水深が違うかってないけど、
1:30:38	東北電力尾崎でございますので、貯留堰のほうはどちらかというずっと
1:30:44	津浪引いたとしてもそこにずっと
1:30:47	水がたまっているような状態、保険の分を課すための水が溜まってる状態になりますが、常に水が溜まってる状態になりますので、送信に対して問題ないかというのを確認する必要があると考えられますと判断できますので、今回の場合は、
1:31:03	なぜ考えてないかという、このような、例えば、
1:31:06	4375ページのように非常に津波が上がってくるんですけども、直線的に上がってすぐに下がってしまうので、
1:31:15	嘘
1:31:16	いわゆるスロッシング、地震による労働というのは考えにくいと。
1:31:22	判断されますので、走時こちらのほうをカウントしてないというような整理になってございます。以上です。
1:31:31	規制庁エザキですけども、ここは個別引っかかかっていて、確かに考えにくいっていうのはある程度理解できるんだけど、そこはあくまでも考えにくいとしか言っていないんです。だから、あそこでもう少し補強できませんからそう地震とか京成とかで、
1:31:47	そうすると、シーリングをもし将来無視し得るか大きい起き得ないという
1:31:54	東電で御だけでございます。整理させていただきたいと思いますね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:59	しても、ウエス。
1:32:02	朝 3 分間でございます。
1:32:04	示しています。フェスタガード式で非常にこの短周期側の加速度を拾ってきてそれで。
1:32:13	かじも与えてございますので、そういうとしてスロッシング荷重というのは比較的長い地震動成分事業とか、それ以上の成分で、今後の解析においては、
1:32:23	ご当地もスペクトラム小さくなってございますので、それとも踏まえましても十分安全側の荷重設定なっていると。
1:32:32	いうところもですねちょっと踏まえて補強したいと思います。以上です。
1:32:44	はい規制庁工藤です。じゃあ次に行きますって等 4398 ページ。
1:32:52	お開きください。4398 ページは、これはあれですかね、向性支障の
1:32:59	部における光源の変形量の出し方なんですけども、この出し方、ちょっと確認なんですけども、今のこの評価っていうのは、
1:33:11	例えばですね 4394 ページを見ると支承って結構たくさんあるじゃないですか。今例えば水圧がかかったときっていうのはこのマップのRC支柱二つ、合計量がある四つ。
1:33:27	そのRz支障があるわけですね。
1:33:30	四つの出生それぞれに関して実際は何か水圧かかったら個別に反力が出てきてそれに対する個別の変位量ってなかなか出てきそうな気がしてましたので、
1:33:42	一方で 4398 ページを見ると、
1:33:45	これはこの式ですから見ると、全部の支障の剛性を合計し、バスターのような形にも見えて、
1:33:57	これはもうなんですけど、個別で出した変形っていうのはないんですかそれとも要は全体出そうがなんかより保守的なのかというその辺がちょっといまいまいわからず、その辺ちょっと説明をいただけますか。
1:34:17	はい、東北電力の松永でございます。
1:34:21	ちょっと記載のほうがちよっと不十分だったかもしれないんですが 4398 ページのRVですとかCIGMA系PV基本的には
1:34:37	負担力等方性というのは一対一の関係にしております、ちょっと種すいません。
1:34:47	ちょっと改めますけれども、ある部位が次のページの参画の製紙用の視点でございますけれどもこの一基当たりの反力であれば、東証の剛性も一基分で当然警察しますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:03	ちょっとすみません、記載の整合がちょっと十分ではなかったかと思えますけれども、いずれアルバイト警備部位は一基あたりなのか、或いは2基分であれば2機分の反力に対して2機分の剛性で計算してございますのでそちらについてちょっと
1:35:23	と思えます。
1:35:25	規制庁苦情ということだと反力自体は例えば一番下の発症が水平方向の赤字が、一番下の使用許可が個別にちゃんと反力を出した上で、その辺の変形量を使ってのはいそれらを
1:35:41	そうされてるそういうふうな話一つある理解しました。はい。
1:35:46	そこで記載っていうところですね。
1:35:50	ねえ。一つ最後に私の方が確認で4337ページ。
1:35:59	あと、
1:36:02	温泉337ページですね。
1:36:06	あと、
1:36:12	これは、
1:36:13	入力地震動の妥当性鋼板部におけるしかも杭が長さが違うやつ。そうですね。そうですね4336ページに図がありまして、
1:36:25	このような鋼板される一つの後半のブロックが、それらの杭の長さが異なりますよで杭の長さ異なった場合において、入力地震動に用いるSの体系のは、
1:36:40	どの地層のやつを使うんですかというのはここで示されていると。
1:36:45	で、
1:36:46	ここで言ってる内容っていうのは
1:36:51	結局こういう短い杭における地層の、要は一次元の地震応答のモデル
1:36:59	の値を
1:37:02	実際は使って、
1:37:08	1337ページ、これが、
1:37:11	要は何が言いたいかって言うと短い杭と長い杭でそれぞれ地震応答解析に使うモデルが違いますよ。
1:37:19	そういったモデルの
1:37:21	市街がこの4337ページで、
1:37:25	次をそれぞれ入っているかと言われたどうも入ってないんですよ。これは、
1:37:30	あるどっかの1番目のやつをそのまま使って、
1:37:34	何かこれをやる意味が何かあまりいい私じゃわからなかったような苦しいかかっていうと杭①②のように、短い杭における地震応答についてはそのまま丸い杭の①までにさま入れた上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:49	杭の③に対してそのような長い。
1:37:52	杭が長い場合の地震応答解析の結果が単独で個別で入れて、その結果を見ないと何かこう、入力地震動が妥当なのかというのがわからないような気がするんですけど、いや私の考えがこっちと違うのかそれとも、そもそもこれ何をやりたかったのかってもなく、
1:38:10	ちょっとこれ説明をいただけますか。はい、東京電力の松永でございます。4337 ページのこの図の意味としましては、杭の③というのが一番長い杭でございますましてこちらの設置。
1:38:27	1、国の位置での加速度、それから変位速度というのを入力してございまして、それに対して0 一番短い断面での応答値等を比較を、
1:38:42	したという結果を次のページのスペクトルに示してございます。ちょっといわばすいません反転してしまうんですけども、
1:38:48	青いほうが短いほうでして、赤いほうが長い方で今モデルに入力している方でして、時全Aと地震班に対して確認をした結果ですとこちらのフーチング底面位置での応答スペクトルということで上部工に直接入力する。
1:39:07	音というふうに考えてございませけれどもこちらの架空自身は赤の方がこの落としやすいいい周期体でウェイ側に振れているということで今のモデルで使っている地盤の地震度を入力することで
1:39:26	妥当な結果になっているというふうな整理をした資料でございます。
1:39:37	規制庁の三浦ですけど、結局あれですよ今の設計モデルに関しては、杭さんの長いほうの
1:39:45	入力動を短いほうにも入れてる。
1:39:48	その長いほうのものを短いほうのものに入れたことが本当にリズムかどうかというのを検証するために、杭打ちの短いほうで求めてきた。
1:40:01	入力動をすべての 123 に入れてそのスペクトル比較を示したっていうふうに理解したんですがそういう理解で正しいですか。
1:40:12	東北電力の松永で生徒等、
1:40:17	ちょっと見させて、
1:40:22	そうですね。こちらについては地盤の地震応答解析コーティングの底面位置での取り出した加速度の応答スペクトルに対して
1:40:35	この 50 規定を重ねて日比較をしたというふうな内容になってございます。
1:40:44	多分上部工への影響を見るんでフーチング下のオートスペクトル示してんだと思うんですけど。
1:40:50	で、もう一度確認なんですけど、
1:40:53	赤の方を何だ 4338 ページの赤のほうのスペクトルというのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:00	長いほうの杭の
1:41:04	先端に生じる先端での応答加速度をすべて
1:41:09	杭地区に福井さん全部共通で入れた武器が赤だ。
1:41:14	青は、
1:41:15	短いほうの応答加速度を食い地区にくう 3000 ベルト気が煽っじゃないんですか。
1:41:23	電力の松永です。今回の結果につきましては指摘モデルに入力する前の段階での地盤応答で比較をさせていただいて、123 に入れた後では、
1:42:13	そうですね杭線加入のことを入れてあって、フーチング底面とのスペクトルをとったんじゃないんですがこの
1:42:22	イオンさん 8 項そうじゃないの。
1:42:29	はい。
1:42:31	ちょっと少し整理させていただきたいんだと思いますけれども、上部工を婦人が載ってる基盤位置での地盤の応答加速度の比較をしたというところでございますけれども、
1:42:47	はい、ご指摘の通り、ちょっと入力自体は
1:42:52	底面位置での音を入れてございますので、ちょっとそちらでの比較等、
1:42:57	そこがちょっと適切かと思っておりますので、少しちょっと整理したいと思います。
1:43:04	規制庁の皆さんこれもともとあれですよね。
1:43:08	今の設計モデルで杭長が違うものに対して、長い杭の先端での応答加速度を入れてることに対してそれがいいのかっていうことに対する回答してんじゃないんですか。
1:43:22	とく電力のまさにその通りでございます。そういうものの改造とすると、2 番の設計が長いほうでやっていますべて杭地区にくうさんとも同じ加速度を入れてる先端に、
1:43:35	それを短いほうの応答加速度をすべて入れてみたときのスペクトル比較をやって、
1:43:42	長くによるたほうが保守側だっていう資料をつくってじゃないかなと私は理解してたんですが、違いますか。
1:43:48	所電力の松永です。はい、えっと、
1:43:53	ちょっとそのところまで計算のほうちょっとはいこの資料に含まれてございませんでした。ちょっとご指摘踏まえて、再整理したいと思います。
1:44:20	一番

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:37	すいません東北電力尾崎でございます。考え方としましては皆さんおっしゃる通り進めることを我々も考えた上で検討させていただいてございましたが、資料上、少しちょっとその辺はうまく読めなくなっているというか、
1:44:54	自分事だけになってしまってますので、
1:44:57	考え方としては、
1:45:01	了解いたしました。
1:45:03	規制庁のエザキですがやはりこれ、地盤の入力というよりは複雑な話もある。あるし、基本的には各モデル下端から2、加速度入れる場合は1個の加速度しか
1:45:15	続き入れられないっていうことも制約があるとわかっていますので、どちらの地震動を入れたら応答的には厳しく大きくなるのか、いわゆる大きくなるのかという御とわかりやすい展開でやらしていただいたほうが、
1:45:30	理解しやすいと思うんですが、
1:45:33	特にで御エザキでございます。了解いたしまして、その人整理したいと思えます。以上です。
1:45:44	規制庁の見直すちょっと私気が付いたんで言うておきます 10004309897 ページ。
1:45:53	もう左側下のようなんですが、これ矢印が赤の矢印、これ。
1:46:00	げた軸直交方向ですよ、ちょっと修正しておいてください。
1:46:05	電力の松村です。はい、申し訳ありません。承知しました。
1:46:24	はい。規制庁フジワラです。傍聴平気関係は以上ですかね。
1:46:30	町特定資産の確認等ございますか。
1:46:35	尾崎でございます 特段ございません。以上です。
1:46:43	ハングイトウ協議が入りまじるところ。
1:46:48	て言ったときに、
1:46:50	短い方等、長いほう地盤応答解析で見たときに、
1:46:56	府偏差分って、そんなに関係ないんですかね。
1:47:00	地盤の
1:47:02	多分やらかいところのほうが、
1:47:04	基本的には及ばないところの辺ってかなりきくと思うんですけど、それが、
1:47:09	そう、深さが長い場合と短い方あるけど、
1:47:16	東北電力の松永です少々お待ちください。
1:47:21	規制庁エザキですか、いわゆる層上部工への影響はそういう応答で考えられるんだけど。
1:47:27	下部工としての杭のものとして、いわゆる杭の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:32	長さが違う、違うことによってよう閉と通 10 するような国自身が、
1:47:38	いわゆる閉鎖ができると
1:47:41	国等でギャップが埋まるんじゃないかと思うんだけどその辺っていうのはチェックは十分でしょうか。東北電力尾崎でございますので、4350 万 4336 ページに地質断面図を示してるんですけどもここフォーチングかターンまですべて地盤改良、
1:47:58	岩盤からしておりますので、ほとんど変位が出てない。
1:48:03	ところになって参りまして市町村長いますけども変位はほとんど変わらないということではないというものもあります赤枠の着目でよろしいかと思っております。わかりました。そのへんですね、そういう考え方設計でこういった考え方でいいんだと言った経緯は、
1:48:20	割と残すようにしないとなぜか。
1:48:24	こういったモデル化を多層入力の仕方で確認だけで十分かっていうのがわからない部分もあると思うんですね今みたいな話があると思いますんでね、例えば総経閉鎖がある程度わかっているんであれば、非常にいい無視できる量であるというものは定量的に説明できますよねということも、
1:48:44	いわゆる保守性詳しく有効活用がないですけど、やっていらっしゃると思うので、地盤の変位が杭等の辺りでどの程度で、その辺、そういうことを、大きな偏差、
1:48:55	その相対変位が生じないと食い込んでですね①から③の間です。
1:49:00	地盤の変からするとね。
1:49:02	なので加速度をそう、上部の全体の応答をはっきり把握できれば特に問題ないという、こういう不陸があった場合ですね。
1:49:13	ていう説明をするとしていただいてその理由は基本的に今言われたように地盤改良があるんで。
1:49:18	基本的には非常に変位は小さい。
1:49:21	地盤であることから、こういうモデルで十分だということだと思んですけど。
1:49:27	連絡だけでございますが了解いたしました断層でこに、はい。わかる追記させていただきます。以上です。
1:49:44	はい、次を 9 時の説明を準備をお願いしますか。
1:51:18	はい、規制庁フジワラですと、準備できてそうですので説明をお願いしますか。
1:51:54	はい、東北電力佐藤です。それでは屋外重要土木構造物の
1:52:00	説明を始めたいと思います。まず資料の説明をいたします。資料が 2-1 ということで、こちら回答整理表になります。次資料 2-2 ということで、屋外重要土

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	木構造物の耐震安全性評価補足説明資料で本日のメインの説明資料になります。
1:52:19	資料 2-3 資料 2-4 につきましては、排気塔連絡ダクトの地震応答計算書や耐震計算書になりまして、こちら当断層の影響評価を行って影響が大きいと岩盤部に対してへと添付書類に格上げを行ったので、その部分を記載した図書となっております。
1:52:37	本日の説明の図書は以上となります。
1:52:44	それでは続きまして棟排気塔連絡ダクトのコメント回答について御説明したいと思います。
1:52:51	別途資料を 2-1、回答整理表の
1:52:56	ページで言いますと、
1:53:12	はい。
1:53:13	8 ページの 8 ページをお開きください。
1:53:19	8 ページの 24 番、コメント内容につきましては、今後実施するとしている液状化による影響評価について、欠陥用意である場合は、申請書類として位置付けを整理して説明することということで、今回する回答する内容については①番ということで、
1:53:36	トーマツ解析選定フロー⑤協力員抗力買い付け実用のうち、基準解析で操作まで実施する排気塔連絡ダクトとおっしゃるの結果を補足説明資料に記載しております。
1:53:47	液状化の影響は軽微であり曲げせん断し自立性のいずれのさせたものに全応力解析が厳しい結果となります。
1:53:54	②に今後添付書類の反映班員行いますということで添付書類の反映は今後行います検討状況としまして、その他のケース⑤に落ちる構造物については 8 月に回答する予定となっております。
1:54:09	また、全応力解析に関して関連する記載の適正化の
1:54:15	回答がありますのでそちらについても一度御説明したいと思います。回答整理票のページ 38 番。
1:54:30	はい、えっと記載の適正化箇所のナンバーが 83 番となっております。
1:54:36	はい。
1:54:37	こちら、全応力解析及び有効力解析におけるコンクリート実強度の材料物性のばらつきについて、基本ケース、ケース①及びケース⑥を実施して、曲げ軸力系の破壊せん断破壊した結果、基礎地盤の支持性能の照査における照査値の最大値となる解析手法、
1:54:56	ケースAと丸駒束埋まるケース⑨を実施することいたしましたということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:05	記載の適正化を行っております。それではまず、こちらキカン適正化のほうから御説明させていただきます。資料につきましては、資料 2-2 補足説明資料のページで言うと、資料 1-153 ページとなります。
1:55:32	はい、153 ページ、こちらの表 5-1-4 の中期と表の修正をしております。こちらどういったものかという、もともと時 3 適正化のコメントいただいたのが、当ケース①から⑨まで書いていて、ケース⑨っていうのがやらないものと、
1:55:52	説明していて、そこを記載の適正化ということで消してくださいっていうことでコメントいただいていたんですが、実際に典応力解析有効応力解析を行った場合に、
1:56:05	今回御説明する排気ダクトについては全応力解析選ばれるものなので、材料物性のばらつき鉄塔ばらつきの影響っていうのはケース④を実施すれば、問題ないかなと思っていたんですけども、物によっては有効応力解析のほうが厳しい場合けども。
1:56:21	入るかなと思ひまして、こちらケース①とケースAと⑥の当然応力解析という抗力解析の基本ケースを行った上で厳しいものに関して、ケースAと④またはケース。
1:56:37	⑨の材料物性のばらつきコンクリート実強度のえと計装へと実施しますということで記載の適正化を行っております。ちなみにこちらの注記の※の 2 ということでケース⑤またケース⑨と書いてあるんですけども。
1:56:53	ケース④の止まって当正しいことになっております。正しいものとなっております。ちょっと誤記となっております申し訳ございません。
1:57:04	東北電力とですね若干補足させていただきますと、もともと材料物性のばらつきとしてとコンクリートの実強度に基づくヤング係数を用いて検討するものは、当初全応力解析のほうで代表しますという説明をさせていただいておりましたけれども、
1:57:22	今の佐藤から説明の通りという抗力解析のほうが厳しくなるケースもあるだろうということで、基本ケースの中で、基本ケースdと厳しいほうに対してと実強度のばらつきも行うというそういう二つの方針変更させていただきました。以上です。
1:57:40	それではそれとこの表の中に今実強度に基づく圧縮強度と書いておりますが、以前からの御説明はしているんですけども、こちらの意味合いは、コンクリート強度がを上げるということではなくやるけっそあの絵とかという意味合いのものとなっておりますので、一応説明をさせていただきます。
1:57:57	それが有効応力解析の結果について御説明いたします。と同じ資料 2-2 の資料の中で、補足の資料ページで言うと資料 3 の 186 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:09	と排気ダクトの補足説明資料について、お開きください。
1:58:18	はい。
1:58:19	資料 3-8、186 ページということで、地震応答解析結果となっております。今回以前までは全応力解析の結果しか載っておりませんでした。今回有効応力解析の結果を追加しております。またそれに伴って過剰間隙水圧比
1:58:34	凸とかもAと追加となっております。こちらの資料の 188 ページをお開きください。
1:58:45	188 ページにつきましては、今回、ケース⑤に陥るへと当社分断面位置についての曲げ軸力系の破壊の結果が記載されております。
1:58:57	188 ページが①から④ということで前よる応力解析で次の 189 ページにつきましては、有効応力解析となっております。
1:59:08	こちらの結果を見ていただきますと、基本ケース①の中で全応力解析で一番厳しいものでいうと赤枠で囲って 0.79。
1:59:17	有効応力解析が 189 ページの表になりますと 0.67 ということで線を解析のほうがあえと相殺して厳しい結果となっております。
1:59:27	／ばらつきを考慮しても同様の結果となっておりますし、その他の結果についても、
1:59:34	協力会社のほうが厳しい結果となっております。
1:59:37	次剪断についてへと 194 ページをお開きください。
1:59:44	194 ページにつきましては、こちらせん断の結果となっております。こちらのせん断の最も厳しい基本結線最も厳しいものが赤枠で囲っているもので、またパブコメでいい材料非線形でやっているもので 0.87。
2:00:00	次の 195 ページ等有効力解析でいうと、
2:00:06	ケース⑥の赤枠で囲っているとか、0.73 ということで、こちらのセンターについても同様に全応力解析のほうがあえと厳しい結果となっております。
2:00:19	なお、ここに
2:00:23	入っている数値につきまして、上の囲む機が書いていないものにつきまして、材料非線形解析の結果となっておりますのでこちらの括弧書きのところにつきましては、せん断耐力式による照査値の結果となっております。こちらの記載の適正化のナンバー81 番にて
2:00:41	に伴い記載の適正化を行っている箇所となっております。
2:00:48	はい。
2:00:52	続きまして、次が減っ等、
2:00:56	268 ページをお開きください。こちらの考察を行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:16	はい。ここのまとめのところに、今回の結果全応力解析のほうが厳しくなりましたということが考察について記載しておりますので、ここで文章に書いていることにつきまして、まずを使って御説明したいと思います。
2:01:33	ページ戻りまして 219 ページをお願いいたします。
2:01:44	はい、219 ページ、こちら過剰間隙水圧分布図になっております。こちら今回洞道シャープへと断面位置で
2:01:56	有効力解析を行った結果となっておりますが、この図を見ていただくとわかるように、過剰間隙水圧比が一番出ているところの勝負であっても、0.8 程度ということで、だめ 1 に関しては液状化はしていないと考えられます。
2:02:12	続きましてページ 213 ページをお願いいたします。
2:02:23	はい、こちら 213 ページ、それと 214 ページが全応力解析という抗力解析の再編最大せん断ひずみ分布図となっております。こちらの所へと引き出し線で数値記載しておりますが、
2:02:39	この解析モデルの中で一番せん断ひずみが出ているところのデジタル値を記載適正化のコメントを受けて追加している箇所となっております。
2:02:51	こちら全応力解析という抗力改正比べますと、重力解析ではすいません。江藤から見ますと最大せん断ひずみが全体で見ますと似たを超える範囲につきま
2:03:04	というコール解析のほうが広がっております。赤くなっているところになります。
2:03:08	また、最大値について着目しましても全部解析が 3/つというコール解析については 9%程度となっております。
2:03:18	一方側壁のせん断ひずみの分布見ますと、こちらはほぼ同等というような形になっております。
2:03:25	以上より、というコール解析では頂部が剛性低下しまして、水平方向の摩擦力が小さくなった結果、全応力解析が厳しくなったと考えております。有効応力解析のコメント回答については以上となります。
2:03:41	それでは続きまして断層関係についてのコメント回答したいと思いますので、資料 1、コメントリストの 22 ページをお開きください。
2:04:01	はい、22 ページの No.78 へと排気塔連絡ダクトの断層影響検討コメント内容ですね。はい、えっと断層影響検討ケースの照査値が厳しくなっている不安断層公差について、基本ケースだけじゃなくて、ばらつきケースも実施して、安全機能を損なわないことを説明すること。
2:04:19	コメントがありまして、それに対して添付書類の別紙 1 の作成ということで、添付 2 核にしまして、それでばらつきを含めた上での評価結果を添付書類として記載を作成し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:33	補足説明資料を行って基本ケースだけではなく、ばらつきケースも実施して、安全機能を損なわないことを記載しております。
2:04:41	続きまして断層関係もう一つコメントありまして、コメントリストの 21 ページの
2:04:47	73 番になります。
2:04:51	コメント内容が検挙検討とする等構造物と添付書類に記載する構造との違いについて今後整理を行うこととコメントを受けまして、①ということで今回回答する内容としまして、断層影響により評価結果が厳しくなる。
2:05:08	配当連絡ダクト岩盤については、先ほどのNo.78 のコメントの対応であるばらつき の検討も実施してテンプレート添付書類することといたしましたという記載を しております。
2:05:21	また、
2:05:23	補足説明資料資料 1 の記載につきましては、次回のヒアリングのときに修正した もので御説明したいと思っております。
2:05:33	それは断層についてご説明したいと思いますので資料 2-3。
2:05:39	をお開きください。
2:05:43	配当連絡ダクトの地震応答計算書になります。
2:05:53	こちら今回あの断層のコメント回答ということで本文のほうは特段載せており ません。この中で、別紙 1 ということで、
2:06:29	はい。説明を続けますねと。
2:06:33	廃棄等連絡ダクトの地震応答計算書添付書類になっておりますが、こちらの 目次に別紙ということで、断層交差部の地震応答計算書というものを作成して おります。
2:06:46	こちら、1 ページ目めくっていただきまして別紙 1 断層考察の地震応答計算書 ということでタイトルを記載しております。今回地震応答解析を行って耐専計算 書のほうに照査値のところまで記載しておりますが、
2:07:01	一番の機器配管系に関する応答加速度分布図、
2:07:05	につきまして今回作成していないので、こちらについては別途、別途作成しま してお示ししたいと思っております。
2:07:15	こちらの別紙 1-2 ページをお開きください。
2:07:21	海洋となります。それから用の一段落目を読みますと、配当連絡ダクト岩盤部 断面⑦につきましては、施設の周囲が岩盤に追われており、不安断層と交差 するためとなります。
2:07:37	岩盤と断層では公正さが大きい、大きく断層が構造物に与える影響があると 考えることから、排気塔連絡ダクトの岩盤部断面⑦は断層と交差する特殊部 として評価対象断面に整理しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:53	解析の中身につきましては別紙 1-3 の方。
2:07:57	御説明します。
2:08:00	別紙 1-3 のフローとなりますが、当添付書類に格上げしましたので、こちらのフローの右上のところへと基準地震動Ss及びSDってということで、個別のほうにつきましてはSsの評価を行います、機器配管系の応答加速度につきましては、
2:08:17	Ss+SDについての増加速度を抽出して当評価を行う形になっております。
2:08:24	続きまして別紙 1-8 ページをお開きください。
2:08:30	解析の中身につきましては、当地震。
2:08:35	配当連絡ダクトの地震の時さすの本文とほぼ同等となっておりますが、先ほどの部分も同じ解析ケースにつきましてはですか。
2:08:46	こちら本文と同じような形になっておりまして、土木の評価ケースにつきましては、水平動の反転、そして厳しいものではばらつきやさらなるばらつきまで実施している形となっております。
2:09:04	で、こちら入って連絡ダクトにつきましては増える解析のほうの方が厳しいことから、こちらについても当然おる解析の結果のみを評価することを考えております。
2:09:16	はい。
2:09:17	続きに
2:09:22	別紙 1-9 ページをお開きください。
2:09:25	こちらへと機器配管系の応答加速度抽出のための解析ケースということで、先日のヒアリングで保守 7 月 18 日のヒアリングになりますが、方針で御説明させていただいたようにSSに関して、ケース①から④のプラス。
2:09:42	えっとクラスト水平度の反転
2:09:45	のところまでばらつきを実施いたします。また、こちら添付書類となりますので影響検討ケース等をして行うケース⑤につきましては補足のほうで説明する形となっております。
2:09:58	続きまして、続きましてええと耐震の評価についてご説明しますが、資料 2-4 の耐震計算書につきましては、資料計算するベンノように耐震計算書よりあと補足説明資料のほうがええと細かく書いておりますので、
2:10:15	苦渋の補足説明資料であります資料 2-2 の
2:10:19	時で言いますと資料 3 の 17 ページをお開きください。
2:10:38	Cか、
2:10:41	すみません。
2:10:43	それから、資料 3-57 ページではなくて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:51	資料 3 の参考の
2:10:53	3-57 ページになります。すいません。参考資料のほうとなっております。
2:10:59	資料 3 は配当連絡ダクト補足本文になってまして、その中の参考の 3-57 ページとなっております。
2:11:10	はい。こちらへと曲げの評価結果となっております。曲げの評価結果前回までは基本ケース①の評価結果まで示しておりましたが、ばらつきまで実施しており、問題ないことを確認しております。
2:11:25	責任へと 58 ページを
2:11:31	58 ページに移りましてええとせん断の評価結果につきまして、こちらもばらつきSでさらなるばらつきを考慮していても、サイトウ伝送先が 0.74 ということで、
2:11:45	コメントで指摘されており、区別されておりました安全機能を損なわないっていうことの確認がとれております。
2:11:52	単層についてのご説明は以上になります。
2:11:57	続きましてばらつきとして選定する地震動について、コメントされていたものについて回答しますので資料 2-1 のコメントリストの 29 ページをお開きください。
2:12:21	はい。
2:12:22	29 ページの 94 番になりますが、コメント内容が出水島前各部において、せん断破壊に対する照査値が基本ケースからばらつきケースが 1.0. 15 程度増えていることから、その他の構造物含めて対応とする地震動の妥当性について、
2:12:39	説明することとコメントいただいております。今回すべての構造物についてこちらについての考えを展開させていただいております。御説明させていただく水路全角ではないですけども、御説明させていただきたいと思います。
2:12:56	こちらについてパターンとして絶対まで三つあるかと思って。
2:13:01	①としては照査値が 0.5 未満となるようなかわいいで②番としましては、基本ケースにおいて最も照査値が厳しい地震動に対してばらつきケースを実施しているもの、この①番②番っていうのは特段の問題になるもの。
2:13:17	ではないと思って。
2:13:19	③番につきまして、今回ご指摘いただいたものは三番に該当すると思いますが、ばらつきを考慮するばらつきの考慮による照査値の基本ケースに対する増加分と最大照査値となる基本ケースの照査値を
2:13:35	考慮ということで
2:13:38	今回主にコメントいただいたものが③に関してになってくるかなと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:44	御説明につきましては、資料 2-2 の補足説明資料のページで言いますと 3 ページが 3-196 ページをお開きください。
2:14:00	先ほど、
2:14:03	御説明いたしました。①ということで、操作値が 0.5 未満となるものということでえとC性能であったりとか曲げの照査値とかがこれに当てはまるものが多いんですけども、こちらそもそもえと照査値が十分に低いことから、
2:14:19	こちら基本ケースに対して、ばらつきケースが
2:14:26	別の選定しているものじゃなくても大きい値となっても特段問題になる値ではないと考えております。
2:14:34	次に、198 ページをお開きください。
2:14:40	こちら、②番のケースになっておりまして、こちらにつきましては、
2:14:47	今回 0.6、基本ケースで一番厳しいものが 0.61 ということで、ばらつきを考慮するというのが 0.67 ということで、こちらの厳しいものが選ばれているっていうことで、こちらも特段問題になるようなものではないと。
2:15:03	いうことで考えております。
2:15:05	パターン③ということで補足説明資料の中の資料 5-149 ページをお開きください。
2:15:20	こちらの研修原子炉機器冷却海水配管ダクト鉛直動になります。
2:15:27	今回の取水の全各部と同様に、のパターンというのはこちらになっておりまして 149 ページの一番下の段落の鋼材の照査においては、
2:15:40	というところに記載させているとさせていただいておりますが、ばらつきイコールによるより照査値が基本ケースから最大 0.02 程度増加することを考慮しても、
2:15:51	最大照査値が基本ケースの 0.63 であることは、すべての地震動に対して要求機能を満足していると評価できると記載させていただいておりますのでこちらあの中身としましては 154 ページをお開きください。
2:16:10	こちらですね
2:16:13	ばらつき係数につきましては、他の評価の中でSDPとか設立のプラスプラスでF _s NRのマイナスプラス選ばれている形になっておりますので今回ばらつき、
2:16:30	考慮するときに、S _s D II の①だと 0.59 で③だと 0.61 ということで、ばらつきを考慮すると、0.0 に増えている形になっております。一方、ケース①で一番大きいものがSD湾のマイナスとプラスということで 0.63

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:48	そういう辺りなっております。今回ばらつきで 0.0 に増えたと考えてと増えておりますが、SBOのマイナスプラス 0.63 に対して 0.0 に増えていても安全機能に対しては、特段問題ないということで、
2:17:05	こちらの考え方を記載しております。
2:17:09	こちらのコメントNo.の 94 番については以上となります。
2:17:21	月Nφとファイバーの要素の使い分けのコメントについての御説明をしたいと思います。ええとコメント。
2:17:31	そうすると、
2:17:32	リストの 22 ページとなります。
2:17:38	はい、22 ページ。
2:17:43	のナンバー77%になります。込めてないやんコメント内容が同一構造物をモデル化にあたって、全応力解析で有効応力解析ファイバーよさとMRモデルの使い分けをすることの妥当性について定量的な評価結果を踏まえて説明すること。
2:17:59	ということで回答内容といたしましては非線形はり要素にファイバー予測及び先輩モデルを適用した場合の影響について配当連絡ダクト土砂部等々程度の規模のボックスカルバート構造物を模擬した検証モデルを対象に、
2:18:15	政府交番再開による繰り返し荷重を考慮した解析を行って、
2:18:20	家曲線及び発生断面力が両モデルにおいて概ね整合することを確認したことを記載しましたということで、こちら補足説明資料、資料 2-2 のページが資料 3-3 孔項の 1 ページをお開きください。
2:18:46	はい。こちら参考資料 5 ということで、今回コメント回答として参考資料を追加しております。
2:19:14	はい。そうで参考 5 の 1 ページをお開きください。
2:19:21	こちら内容について、実施して内容について御説明いたします。1 ポツのはじめにの上から 3 行目のところで、構造物の鉄筋コンクリート部材について隻はり要素についてモデル化しているが、
2:19:38	解析コードの制約から全応力解析ではファイバーモデルを有効応力解析にはインフラモデル修正武田モデルを示しております。
2:19:48	ここでは非線形はり要素のモデルの違いが解析結果に与える影響について検討を行うという処理となっております。
2:19:55	内容としましては 2 ページ目をお開きください。
2:20:01	2 ページ目にトーマツえとⅡ-2-1 ということで検証モデルの概要ということで、こちら、名鉄塔一遍 7mで厚さ 1mのカルバートということで、配当連絡ダクトとほぼ同等のカルバート

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:19	当モデル。
2:20:21	貸しております。
2:20:22	実際の最下方法考え等、表 2-1 の材料諸元につきましても排気塔連絡ダクトと同等のものを採用しております。
2:20:30	加重の最下方法につきまして、図の 2-2-A と A のステップになりますが、まず常時
2:20:37	応力解析常時の動圧をかけたり見込めますと、こちら配当連絡の断面位置等に作用する上旬とはちょっと同じものを入れてます。
2:20:47	そのあと Pd ということで最下ステップ 2 ということで政府岩砕化を行います。
2:20:54	正副そこは最下の最下方法につきましては、3 ページの図の 2-3 に記載しておりますが、
2:21:01	降伏変位の δ_y に対して 0.5 倍、1 倍 1.5 倍の整理を行って当評価を行っております。評価結果が 4 ページからなっております。
2:21:14	まず 4 ページ目にファイバーモデルと MR モデルでの荷重変形関係を示しておりますので、こちらにつきまして水平と縦軸が水平荷重と、横軸が水平変位を持ってありますが、こちら利益については概ね整合したような形となっております。
2:21:35	で、
2:21:36	この時のため 6 について等をページ 6 ページ目にと比較しておりますが、町版から底版までファイバ要素とファイバーモデルにつきましては概ね同等の断面力が得られていることが確認できました。
2:21:54	まとめになりますが、7 ページ目になります。
2:21:59	2 段落目になりますが、先ほどお示した結果の通り解析コードの制約から配当連絡ダクトでは当然応力解析がファイバーモデルへと有効応力解析モデルを採用しておりますが、構造物における非線形はり要素のモデルの違いによる評価結果の
2:22:17	差がほとんどないことから、両モデルの使い分けは問題ないことを確認。
2:22:23	と。
2:22:25	m ϕ モデルファイバーモデルのコメントに対しては以上となります。
2:22:31	当期純惜しいことに関しての
2:22:36	コメントにつきましては人取り入れと回答をしろとなります。以上です。
2:22:43	はい、説明がございます。質疑に入りたいと思います。
2:23:01	教えてるんタニグチです。
2:23:06	資料の 2 の
2:23:09	運動

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:10	その耐震性について、今回ですね、添付資料で出させて出していただいているものの際の
2:23:20	規制の仕方についてちょっと確認させていただきたく、
2:23:25	まず、
2:23:26	これの資料の別紙の 1-9
2:23:31	ここで耐震
2:23:33	耐震評価結果が載せていただいているんですが、
2:23:38	これコンクリートと鉄筋等、せん断破壊の照査という形で載せて各この調査中のところに書いてある曲げモーメントと軸力の数値については、
2:23:50	前の項の断面力図にこの位置が、その最大値になってますっていう説明をしていただいているんですけども。
2:24:00	コンクリートのやつについての最大値については、断面力図が、
2:24:06	ただいんですけれども、
2:24:09	こういう添付資料のつくり方として、一応評価結果を作ったものについては、その断面図をきっちりこの位置が、
2:24:20	最大値だったっていうのはわかるように記載をしていただきたいんですけれども、いかがでしょうか。
2:24:27	はい、東北電力佐藤です。こちらの記載の整理の仕方につきましては先行と同じような記載の整理をさせており、いただいております、こちらの曲げ軸力系の破壊に対して、当溜めることについてなんですけども。
2:24:44	えっと曲げ軸力系の破壊に対して照査値が最大 1、
2:24:48	の
2:24:50	載せております、具体的に今解析ケース①の是正のプラスプラスとなっておりますので一方で、別紙 1-9 ページに示している曲げ軸力系の破壊に対する照査っていうのは、それぞれコンクリート着目的に着目。
2:25:07	せん断破壊、せん断関係ないですね、コンクリートと鉄筋着目でそれぞれで厳しいものを載せている形となっておりますので、今回でいうと、こちらあの図として記載させていただいているのは、照査値がコンクリートと鉄筋だとのほうが 0.46 ということで、照査値が大きくなっております。
2:25:26	ですので、今回鉄筋の
2:25:30	ために駆動の
2:25:32	さっきの厳しいときのための工夫を載せさせていただいております。
2:25:37	以上です。
2:25:38	もう少しわかりますけど、ただ、具体的にコンクリートの分については照査値が確かに 0.46 に対して 0.3 だということはわかったんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:47	はい。
2:25:48	最大耐震評価結果として、出してる再ませものについては最大照査値が出てきた時の
2:25:59	層厚になるエビデンスとなる。
2:26:02	だめ残すはつけるべきじゃないかなと私は思うんですけども、
2:26:11	東北電カイトウでここにつきましては御説明繰り返になりますけども、先行サイトを含めてですね考え方としては曲げに対すると一番厳しい照査等へとせん断に対する厳しい照査の断面力図をそれぞれ載せるとでも上げに対してはコンクリートと鉄筋両方
2:26:29	に対する照査はありますけれども、今日厳しいほうで代表できると考えてまして、そういう意味では鉄筋のみあくまで今回は鉄筋のみを載せさせていただいているということですね。
2:26:43	ちょっと同じにしたっていうのは理由なわけですね。
2:26:48	そう。
2:26:49	走らないのでわかりますけども、基本的にやっぱりこの照査値が出てきた前モーメントがこの数字であった場合は 63 とか自分が 100
2:27:02	なんだっていうようなことについては、これを表すようなことをやっぱり説明で記載しておかないと私はいけないんじゃないかなと私は思いましたけども、先行と同様ってことであれば、中身はわかりましたので、了解しました。
2:27:19	以上です。
2:27:31	規制庁フジワラです。ちょっと今日スギハラいないんですけどスギハラ川沢山ちょっと私のほうで言いますと、2-2-2 が資料の
2:27:41	資料 1-参考-11-11、
2:27:48	お開きください。資料 1 の
2:27:52	参考 11-1。
2:28:00	これ、
2:29:02	規制庁フジワラです。ちょっとまず一旦ゲート 20 分まで救急を挟みまいしょうかでご説明をしてもらった上で質疑を一気にやるような形のほうにさせていただきます。よろしいですか。
2:29:21	はい、規制庁浮上ですとヒアリングのほうを再開しますと、ちょっとさっき説明を追記にやっていただけたらと思います。よろしいですか。
2:29:29	東北電力佐藤です。続きましてちょっと記載の適正化箇所についてご説明させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:36	まずキカン適正化を説明する前になんですけども、こちらの記載の適正化の資料一番の誤りまして、そちらについてまず御説明させていただきたいと思えます。資料を2-1-35ページをお開きください。
2:29:57	はい、35ページの※キカン適正化No.の52番から次のページに移りまして62ページまでで完了年会費が次回以降対応ということで該当ページblankになっていて、
2:30:13	何だかよくわからないものがちょっと入っているというような見た目になっております。こちら一部分この記載の通り次回公開対応ということで、社内上で管理してるやつが間違っ載せちゃったところがありものと、
2:30:29	それが具体的に言うところの52番から54番、あと1ページの絵と59番、これが次回以降回答ということで、社内の管理してるものが載ってしまった形です。
2:30:41	それ以外の55万から58番までと60万から62番まで、こちらが6月16日のヒアリング資料のように、別途資料を提出しておりまして、そのときに
2:30:56	※へ等記載の適正化仮称ということで、一度提出しているものについて、ちょっとその反映がうまくできてなくて、こちらの形となっております。
2:31:09	正しくは6月16日のものを見ていただくと、こちらについて対応起算適正化内容っていうのは書いてるんだっていうのは確認はとれますが、6月16日に資料を提出してこう、海水ポンプ室の時適正化箇所になるんですけども。
2:31:26	ヒアリングずっとされてなくて今回に確定おりまして、1度もちょっと説明をされていないので、こちらについてちょっと口頭で御説明して回答という形にしたいと思えます。
2:31:38	資料としましては、資料2の2の
2:31:44	9時の補足説明資料の1Aと海水ポンプ室になりますので、資料を9をお開きください。
2:31:55	資料9-4ページ。
2:31:58	お開きください。
2:32:05	はい。資料9-4ページ、こちらの下のところの黄色ハッチングしているところ、これ起算適正化No.56倍になってましてええと竜巻防護ネットの施工方法についてのコメントをいただいているものに対して、記載しているものとなっております。
2:32:20	続きまして16ページをお開きください。
2:32:29	こちらについて16ページの2-2-9、こちら先ほどと同じNo.56番についてと竜巻防護ネットの施行状況C部の設計施工手順について記載して避難的性を行っているかと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:45	続きまして 50 ページをお開きください。
2:32:52	50 ページにつきまして、
2:32:55	では、
2:32:58	こちらコメントNo.の 57 体になっておりまして、マッシュアップをと畜真にモデルは設定している理由について剪断変形の観点から、沢山適正化を行っていかかっております。
2:33:14	はい。
2:33:15	97 ページをお開きください。
2:33:28	90
2:33:29	市の表の 3-12 になっております。こちらコメントNo.3 との 55 番となっております。挙手で補正が 13 本あることの方について、こちらの表を作成しております。
2:33:42	こちらの表の中であったり捨てると基本的には教室本数三本出てとっておりますが、個目におつけ降っている注記の 2 っていうところになっておりますが、こちら一歩のところはコンクリートの劣化度調査のために、最初したもので 1 本しかないんですけども京都の
2:33:59	もらう実挙動も出せるの観点から使っているということを記載しております。
2:34:05	続きまして、時へと 130 ページをお開きください。
2:34:17	こちらコメントNo.61 番となっております。主要機器と配管の最下方法の違いということで、当図の 4-19 ページが時の荷重別の 4-20 ページは配管荷重ということで面的に過剰入れているということの御説明の資料を追加しております。
2:34:37	それと同じと続きまして、132 ページをお開きください。
2:34:45	こちらへと慣性力の作用方向についてのコメントを受けてましてコメントNo.62 番となっております。こちらにそれぞれ機器の考慮する機器のものとそれぞれ水平 1 方向と鉛直と。
2:35:01	の慣性力の作用方向と水平 2 方向鉛直方向の慣性力の作用方向について記載をさせていただいております。
2:35:11	続きますので、213 ページをお開きください。
2:35:23	こちらコメントNo.
2:35:25	当行十八番となっております。こちらのせん断耐力式についてCCbCo地域とSIATOLIにおける等記載の充実、充実を図ることということで、(2)番でCCbのせん断耐力スキルを記載させていただいております。
2:35:43	215 ページのほうでは、(3)ということで増し厚部のせん断耐力式、具体的には鉄道標準から持ってきたせん断耐力の考え方をとっておりますが、こちら記

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	載しております。そのあとイトウ 217 ページで(イ)のCCbCo剰余金は薩摩川内力ということで、
2:36:03	鉄道標準のせん断耐力の考え方につきまして、プラスして
2:36:10	CCbの β_{aw} ですね、考慮した式を記載させていただいている形となっております。
2:36:18	はい。
2:36:19	それと、最後になりますが、資料 9 の中の参考 4-1 ページ、海水ポンプ室の参考資料 4 のお開きください。
2:36:41	はい。
2:36:42	こちらにつきまして静的地震力の評価が必要ない理由についてで茶津補強を実施していても、外力が増加しないことを含めて記載を適正化することということで、6 月 16 日の段階でこちらの黄色の
2:36:59	起債躯体の耐震性は向上していることから静的地震力の評価は省略するというのでコメント回答として、書いておりました。一方でちょっとそれから、
2:37:11	まして、実際に竜巻防護ネットの過程であったりとか、と躯体の 4 月分の慣性力が増えるっていう可能性のことも考えられるので、こちらについては再評価をすることを考えておりますので 6 月 16 日に今、
2:37:27	記載の適正化の回答ということで書いていましたが、こちらは
2:37:34	評価結果が評価をして評価結果を示すということで、Tall活力知事道に記載している方法とちょっと変わったものとなっております。すいません。これ以上が記載の適正化箇所
2:37:48	期待誤っていた箇所になりますが、
2:37:52	以上の説明となっております。
2:37:55	続きましてその他水平展開等いろいろ基礎記載の適正化を行っておりますので、排気塔連絡ダクト、あと原子炉機器冷却海水配布管ダクトの水平二次元の中での構造物等へと二次元でCCb行ってるもの。
2:38:12	それと 30 構造物として海水ポンプ室を代表に記載の適正化箇所をどういったところを行っているかということのご説明をさせていただきたいと思います。
2:38:24	まず資料 1-155 ページをお開きください。
2:38:35	はい。こちらのフジワラさんからコメントいただいたもので鉛直動反転の考え方について基礎地盤と膨張低については鉛直度判定を行っているということで基準につきましては地中構造物なので、参考資料の中に記載しているように、
2:38:53	直属の判定の影響が
2:38:56	ほとんどないことから、水平動の反転しかしてないよということの記載を行っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:03	はい。
2:39:05	同じく資料 1-参考-11 ページをお開きください。
2:39:15	はい。こちらの新規に参考資料作成していただいて作成しているものになりますが、こちらはないし、発電所の地盤の振動特性ということで、1 ページ目の図の 1-1 に示す通り、
2:39:30	特重の構造物の中での配当連絡ダクトや取水口、あと津波防護施設としての防潮てや斜面を代表構造物として、一番の加速度や変位、ひずみの分布、
2:39:44	のかっていうのを資料作成させていただいております。対象設備が対象断面につきましては 2 ページ目に考え方を記載しております、以上のこちらの考えの通りで排気ダクト取水口を調停で斜面ていうのをピックアップしております。
2:40:02	はい。
2:40:04	お開きください。
2:40:12	はい。こちらすみませんちょっと一部用いの状態が異なっているところで申し訳ないんですけども、今回配当連絡ダクトの結果を示しております、取水口防潮てアクセスルートへと一問一答斜面の結果につきましてはまた別途、
2:40:27	数字ということで提出させていただきたいと。
2:40:32	こちらで今回排気塔連絡ダクト全応力解析、あとはすみません、断面位置での全応力解析と有効応力解析、それと岩盤部での全応力解析の結果で時ページ以降から加速度分布、
2:40:46	変位分布するひずみ分布図をそれぞれ作成していただいて作成しております。
2:40:52	こちらは 16 ページ開いていただきたいんですけども。
2:40:59	16 ページに有効応力解析の変位分布図を記載した形となっておりますが、ちょっと全体的に変位が大きく減っていて、ちょっと原因確認したらええと変位は、
2:41:12	出てるんですけども、当モデルの回転方向の成分も入った変位となっております純粋に水平の変位分が出ているものではなくていく全応力解析のほうだと水平の変位のみを示しているので、ちょっと
2:41:28	見比べるときに、違うものを比べてるようなことになっておりますので、そちらの方。
2:41:33	10-4-3 の確保につきましては、1 度
2:41:38	その内容を整理しまして当店を差し替えたいと思っております。
2:41:43	こちらの資料の通り、排気塔連絡ダクトを用いて

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:49	加速度変位、ひずみについてまとめるようなPdなってんのかを説明させていただいております。その他の構造物については次ということで、
2:42:00	を作成しまして、お示したいと思っております。
2:42:04	次に廃棄等連絡ダクト用いてまして、水平展開事項。
2:42:10	記載を適正化
2:42:14	資料 3-23 ページをお開き
2:42:22	はいて、23 ページ。
2:42:25	要求機能について積極策のところに書いてくださいということで、こちらの表の通りに記載しております。
2:42:35	次に、36 ページをお開きください。
2:42:43	はい、36 ページは排気塔連絡ダクトみたいに、こういった円形のものに対しての広域の各考え方ですね、当について。
2:42:54	コメントいただいております、こちらに記載の通り、
2:42:58	この円形の部分に接する接線 45° に接する接線等をとそ計器との延長部をコウテンとしまして、こちら広域として広域、すいません広域ではなくて 8 として設計仮定しております、その班長仮定したものに対して、今週に基づき御域を設定しております。
2:43:17	続きまして、184 ページをお開きください。
2:43:34	はい、184 ページにつきましては、当安全係数のところに材料係数紐付けてくださいということで、表の中に材料係数も記載を追加しております。
2:43:46	続きまして 230 ページをお開きください。
2:43:56	230 ページ、こちら黄色ハッチングのところなんですけれども、二次元解析えと時刻歴、全国での操作してるっていうことを服装行っておりますので、そちらについて記載を常と。
2:44:10	追記しております。
2:44:12	続きまして、236 ページをお開きください。
2:44:19	はい。こちら材料非線形解析における半地ということで、先ほど地震応答解析の 8 と同様に班長設定しているということを追記させていただいております。
2:44:32	続きまして 242 ページをお開きください。
2:44:42	入って 242 ページにつきましてはアーチ構造を持つ廃棄等連絡ダクトで
2:44:50	地震応答解析で出てくる断面力と、それに合わせた材料非線形のだめ力っていうのがあったということでコメントいただいております。赤がAと地震応答解析で青が材料非線形解析のための工夫となっております、こちらのこの図の
2:45:06	記載している通り、まだメルコ合わせているということも説明を追記しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:13	続きましてCCb関連で、二次元構造物ということで、原子炉機器冷却配管ダクトの水平と。
2:45:21	その説明をいたします。資料 4-1 ページをお開きください。
2:45:39	はい。CCbが
2:45:43	全体にないCCbの補強やってるのかわかりづらいということで構成の見直しということで、構造及び補強の概要ということで等とタイトルをいたしましてCCbに関する記載を全体に持ってきております。
2:45:58	この一番最後の段落にCCb補強による漏えい等、
2:46:04	補強まずに示す箇所に行ってますということを記載しておりまして、具体的には資料 4-4 ページ。
2:46:12	お開きいただきまして、
2:46:15	2-4 ですね排気人数になりますが、CCbを適用している箇所について、赤枠つけて、どこで行っているのかお聞かせて、
2:46:26	さらに、次の 5 ページをお開きいただきます。開いていただきまして、
2:46:31	CCb工法を適用する部材ということで、どこの部分に適用してるかということで、わかりやすく記載をしております。
2:46:40	続きまして 85 ページをお開きください。
2:46:54	85 ページのせん断破壊に対する調査フローということで、すいませんこちら図が図の 4-31 が正しいんですけど 0-31 となっております。申し訳ございません。
2:47:07	こちらの図を今回追加させていただいておりまして、もともとCCbによる補強を実施しているかの部分については記載しておりましたが、今回追加ということで、(3)ということで棒部材式交付税式
2:47:23	よって棒部材式でCCbが受け持つせん断耐力を考慮した式をフロー上追加しておりまして、またその下にCCb適用の条件ということで、概ね断線範囲照査値 0.80 程度ということだねと。
2:47:38	記載をしてCCbの評価の中身がわかりやすいようなフローを追加させていただいております。
2:47:48	次に、136 ページをお開きください。
2:47:59	はい。
2:48:01	136 ページにつきましてこれ議会からのコメントをいただいたと思うんですけども、ステップするところが誤記であったのを別途修正させていただいております。
2:48:13	2 人工構造物については、私の方からの説明は以上となりまして三次元構造物本店のほうからお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:21	はい、東北電力にキクチS、A三次元構造物の説明ということで、資料9 海水ポンプ室の耐震安全性評価の資料を用いまして説明させていただきます。
2:48:36	資料9 のですね。
2:48:38	97 ページを始めようお願いします。
2:48:55	はい、それでは資料9-17 ページです。こちらが耐震評価フローの部分に記載になりますが中段の黄色ハッチ部分の通り、9-20 ページと21 ページに二つフロー追加してございます。まず9-20 ページを見ていただきたいと思います。
2:49:13	見ていただきますが、こちら、
2:49:16	9-20 ページに022 という事で基本フロー深度一般に対する評価フローということで追加してございますが、こちらが地震動一般に対する評価内容を具体化したフローになっておりまして、二次元動解から時刻の選定
2:49:33	三次元どう解消さまでの流れを示しています。こちらで時頻度いっぱいあたりの称さ時刻等の活動もわかるようになってございます。また、次の21 ページの図の2-23 では、
2:49:49	基本ケースからばらつきを考慮したケース並びに水平2 方向までの一連のプロセスを詳細に示しております。これは二つのフローにつきましては、構造物ごとへ選定する時刻であったり実勢内容を多少異なりますので、
2:50:06	それに応じて内容を記載内容を変えまして、水平展開することとしております。次に資料9-82 ページをお願いします。
2:50:23	9-82 ページの表3-9 のうち、下から5 項目めの項目で内水圧の項目ありまして、朔望平均満潮位に関する注記OP+2.43 メーターに対して関する中級欄外に追記してございます。
2:50:40	こちら、地震による1mの沈下を考慮する設定について、こちら水平展開ということで、神戸する場合はこの注記を突い衛星展開で記載してございます。
2:50:52	続きまして9-87 ページをお願いします。
2:51:02	98 のページは海水圧の設定になりますが、第2 段落のハッチングの部分の通り、地下生乳水に関して、地表面の積載荷重に余裕を考慮しているため、敷地全体で1.00 として設定する。
2:51:18	記載を追加することで記載の適正化ということで筒へ展開してございます。
2:51:26	続きまして、121 ページをお願いします。
2:51:37	121 ページの4.3 章の部分で照査時広告の選定の部分の記載のほう充実化してございます。
2:51:46	海水ポンプ室は3 断面×9 時刻ということで27 時刻選定してございます。照査時刻の組み合わせの考え方がですね、9-123 ページのその方を更新してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:02	こちら金 123 ページ順を 4-13 というところで、改正等の統ルール例になりますが、スクリーンエリアと補機ポンプエリア、あとは循環水ポンプエリアの各エリアで 17 の時刻を選定後、
2:52:18	選定された時刻のプラスマイナス 0.1 秒以内で保守的な荷重となる時刻を組み合わせるといことで、表のほうの適正化を図ってございます。
2:52:30	続きまして、
2:52:32	9-208 ページをご覧ください。
2:52:43	908 ページですが、次の 59 として、せん断破壊に対する照査フローのほうをお示しております。先ほど二次元のほうにも記載ありましたが三次元バージョンということでこちら載せております。特に二次元のほうとの違いでありますのが
2:53:01	フローの中の中段の(2)であたり(4)のほうから落ちていくCCbによりCCbによるせん断補強しつつ実施している場合のケースにつきまして、下側の箱行った際の三つ目のポツとして、面内荷重が作用する部材については面内せん断ひずみは 750 マイクロし、
2:53:21	〇ことを確認という部分、こちらのわかるように記載の適正化充実化ということとしてしております。
2:53:31	なお、こちらの班員ひずみに関する記載につきましては、急に 118 ページに戻った文章で追記してございます。
2:53:42	続きまして、415 ページをお願いします。
2:53:50	はい。
2:53:51	415 ページが水平 2 方向最下による評価結果の部分になりますが、上段のハッチングの部分で水平 2 方向の評価におきまして、組み合わせる荷重として主方向はセイヒョー水平方向と鉛直方向荷重、
2:54:08	キリュウ方向は水平方向荷重とする記載のほうこちら追記しております。
2:54:12	こちらの水平 2 方向の評価をする構造物以西閉店簡易記載として、
2:54:18	水平展開の記載になります。30 円形の構造物に関する水平展開既成事実化に関する説明は以上となります。
2:54:32	当東北電力佐藤です。すいません、先ほど御説明していた中でちょっと説明が漏れていたところがありますので、1 点。
2:54:42	入ってます。当月追加で説明させていただきます。たいと思います。資料 4 の 109 ページをお開きください。
2:55:00	はい、えっとせん断破壊の照査値につきまして、先ほど排気ダクトのときに、材料非線形行ったものを等へと括弧書きでAとせん断耐力式で評価を行ったものということで御説明させていただいたんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:15	こちらの 109 ページの表 5-2 の経営迫るさケース③の静水N&ところ見ていただきますと、両括弧をつけたものの照査値記載させていただきます。いただいております。こちらにつきましてはコメントいただきまして、CCb工法を適用している部材、
2:55:34	について財布えとサチ幾らなのかということでコメントいただいておりますので、
2:55:41	こちらについても、
2:55:43	記載の適正化を図っております。当期の適正化についてはすべて説明は以上となります。
2:55:53	はい。説明以上ということで、じゃあ質疑のほう入りたいと思います。
2:56:17	規制庁の三浦です。御説明ありがとうございます。ちょっと今御説明いただいたことで、幾つか確認をさせてください。
2:56:26	資料 2-2。
2:56:29	資料 1 参考の 11-16。
2:56:35	ここで出してる変位が大きいのでっていうので。さてましたよね。
2:56:40	改定が入ってるってお話されてましたね。
2:56:44	で、最終的にはこれ、
2:56:46	次のページがせん断ひずみ何でせん断変形だけをこのひずみと合わせるような形でせん断変形だけを
2:56:54	それで分離してここに載せられるという意味ですか。
2:56:59	はい、東北電力佐藤です。こちらについてはモデルとしての改定がどの程度起きてるのか、なので中心からの改革をとりまして、それで変形どの程度ロッキング的な変形を起きてるかって言うところの補正を行って、
2:57:15	変容あの調整しようと思っております。
2:57:18	補装具だけ結局せん断変形、せん断成分だけを取り出すっていう理解でよろしいですね。その通りです。はい、わかりました。どうもありがとうございます。それとあと、
2:57:29	やっぱり資料、今の資料 2-2 の資料 3 も 36 ページ。
2:57:45	ここでのご議論考え方を整理されてるんですけど。
2:57:50	ちょっとこの御意見の扱いについて、これ。
2:57:53	断面の照査というのは広域トンまでやられてるんですか。
2:58:01	結局断面照査しますよね。
2:58:03	そのときってのは剛域部分は断面操作せずに、広域短までの断面をベチエックされてるっていう理解でよろしいですか。
2:58:30	部材端部からこの 51p

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:33	関係なく、ご意見を応力解析用の剛域であって、断面照査はどこどこまでやれとかちよつと説明してください。すいません。
2:58:45	東北電カイトウです。皆さんおっしゃる通り今後域についてはどう書いモデル上の5域の設定になりますんで照査におきましては当部材の面から2分のD
2:58:58	より内側で照査をしております。
2:59:06	ドイの端部から2分のDBA等、
2:59:10	5いきじゃないほうのところで照査をしているということです。
2:59:19	ちよつとすみません2分の出でどうこの部分でしたっけ。ごめんなさい。
2:59:25	今言われたのがこの図で見ると、
2:59:29	どこどこまでを断面検定されてます。
2:59:51	ふうん。
2:59:53	そういうことですか、うまくはどのような数或いはされてます。
3:00:10	せん断の照査について当部材の面から2分のB系統センターに寄ったところで曲げについてはごい既往のそういった部分すべてで照査をしていると考えてます本店で用いてたらほぼフォローではいいですか。
3:00:28	ほぼ
3:00:31	東北電力にするの御説明の通りとなります。前については、御意見を除くすべての部材、1点目についてはに分離。
3:00:41	お考えを見る隣地で審査をしてございます。以上です。
3:00:55	はい。
3:00:58	ちよつとお待ちください。
3:01:26	うん。
3:01:44	わかりました。それ。
3:01:47	ちよつと気になったのは、宣伝わかりましたのでまあねについて合意機関から見ると、
3:01:54	そこで、曲げプラス10グループに対して幸一になるような鉄筋っていうのが8分に入ってるんですか。
3:02:07	断面選定をやらないってことですねまで+16に関してご意見範囲に関しては、
3:02:12	そうすると、基本的にはご異議2等見えてもそこには応力が入ってくるので、それは合意基礎みなせるぐらい曲げ系の定期が入ってるっていう前提条件ですよ。
3:02:25	それはそういう理解でよろしいですか。
3:02:28	はい、東北電力佐藤ですと通常の側壁と同様に鉄筋入っているのと、あとハンチングについても伴知委員も入っていますので、その範疇基金は入ってる

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	通常通り欠勤伸びたのはよくわかるんですけど、販チキンっていうのはどのぐらいのものが入ってるんですか。
3:02:47	ください。
3:03:31	東北電力佐藤です。資料 3-5 ページの図の 2-2-4 にハイキング記載しておりますが、感知器の記載特段ないので、こちらについて記載を追記させて、
3:03:45	思います。
3:03:48	ちょっと気になってる気になってくる部位が大半チキン寸断入れた場合のかなと思っていて、
3:03:55	そうすると本当に何かその後ボタン顎域フェイスで曲げ軸力の算定しちゃって構わないのかなっていうのがちょっと気になったんですよ。
3:04:07	建築なんか鋼板ちい役付っていうのはその文学出勤簿ぐらい出ちゃうんですよ。
3:04:12	今の税絶対にそこがご異議例も全然だめ算定上問題ないっていうことはもう見えてるんですけど。
3:04:20	何かこれも一応販チキンどのぐらいのものが入ってる回路でいただけますか、何か 38 ぐらい入ったら全然問題ないと思います。
3:04:29	ちゃんと
3:04:31	東北電力の本店からちょっとよろしいでしょうか。今ちょっと調べられた調べますので、このヒアリングにもあればその段階でもお答えしたいというふうに思います。はい、よろしく願います。はい。
3:04:46	あと今もう断面算定を今どうやっているかってのはどこかに書いてありますかこれ。
3:04:53	ご異議で解析上の合意がここに示されたのはわかったんですが、場面検定所合意共同ひな使われてるかってのはどっかに説明されてますでしょうか。
3:05:06	東北電力イトウですとこの辺の調査方法については土木学会マニュアルに基づいてやっておりまして先ほどの曲げの負えと称させん断の照査もその土木学会マニュアルに基づいてやっておりますので、その該当する部分を参考に記載をさせていただきたいと思います。
3:05:26	以上です。わかりました。了解しました。
3:05:30	それとあととして、
3:05:35	ちょっとわからなくなった規制庁エザキですが、今日確認ですけど。
3:05:40	今これですね排気塔連絡ダクトで資料 3-36 ページで、
3:05:46	あくまでもこれはですね、土砂部の話ですよ。同署部って線形ですよ。
3:05:54	非線形だから、
3:05:56	先ほどの非線形曲げ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:59	とかはあくまでも協力
3:06:02	簡単に言うと、3 学部は強力な協力お話ししちゃってるけど協力不動産ないんだよね。だから層間変形角だとか、あれですよ。
3:06:14	次に 9 話だから、曲げて、
3:06:17	いわゆる不フェイス面とかそんな話なんですよ。
3:06:22	どうぞ。
3:06:26	歪の照査を
3:06:30	はい。
3:06:32	次は基本的には出てくるっていう話ですね、F6 で照査するかっていう話が
3:06:42	すみません、あと、
3:06:45	今の資料 2-2 の資料 3-236 ページ。
3:06:52	これは記載なんですけど。
3:06:55	普通の 5-14 ありますよね。ここを半地で見てるのは解析上 45° じゃないんですか。
3:07:03	この図見ると何か。
3:07:05	ちょっと何か違う三角形の書いてあるように見えるんですが、
3:07:10	特に佐藤です。実際は 45° であるのでこの図はちょっと見た目 40 ごとじゃないんで、こちらの図へと修正させていただきたいと思います。以上です。
3:07:21	はい、お願いします。それと資料やっぱり 2-2 の
3:07:25	資料 4 の 109 ページ。
3:07:28	ですけど。
3:07:31	これもちょっと先ほどちょっとご説明あったんですが、このというのはどの中期に入ってるんですか。
3:07:41	ちょっと注記等の関係がよくわからないんですけど。
3:07:45	東北、
3:07:47	スケート括弧の注記がまず中期 4 を見ていただきますと、こちらのこの表の一番上のせん断破壊に対する照査のところに注記三、四がありましてこちらの 4 ということで、こちらの記載は
3:08:05	せんだって等、適切に
3:08:08	このままの数字で括弧書きのものを線路耐力式の結果、
3:08:13	途中機能ここに関しては、せん断耐力式を用いて照査値データ事情でCCb適応する部材については、両括弧の格好つけますということで記載はしています。それで、場所につきましては、
3:08:31	解析
3:08:33	見つけてはいるものの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:35	この書き方だとこれだけが該当になるような見方になるので、多分、①と④についても同じく書かないと中期の書き方として正しくないので、それぞれの両括弧つけるところの数字の
3:08:50	せずに浅部につけるかもしくは
3:08:53	中期4と同じように、上のところにつけてあげるかということで、ちょっとこちら、今よくよく考えると、ちょっと適正ではなかったと思いますので適正化を図りたいと思います。以上、すみません、規制庁未達ちょっとわかりにくかったんで、適正ができるならしてください。私からは以上です。
3:09:19	既設フジワラ調達の方から
3:09:24	ちょっと何点かまず、
3:09:26	資料3-236をちょっと開いていただいて、
3:09:31	これちょっとあの確認さっきあのまま解析上の扱いは先に発注のやつはわかりましたと。
3:09:36	とせん断耐力の算定のところでこの評価対象部材の側壁については要はどう各階のせん断耐力式を用いる場合の範疇の扱いとあと、
3:09:51	材料費非線形を用いた時のなんか範疇扱ってというのは蓋パターンについてちょっと確認しますので、材料費非線形の話ってというのはその次のページからあるやつで模擬してるから、これによって8の影響は多分、
3:10:04	このされてる要は議席結果はですね。一方で普通どう各階における、せん断耐力させショップ算出式における
3:10:15	感知っちゃうのは何かこれってどっかアンチ部のオオイワ厚み分なんかどっかコールしてるとかいうのはあるんでしょうかそれとも感知は無視して、一応、せん断耐力式を持ってらっしゃるとか、そこに何かちょっと説明をいただけますか。
3:10:31	ああいうせん断耐力式を用いて評価をやっている部材において、この半地の影響を考慮しているか否か。
3:10:39	もし考慮してたらそれと。
3:10:43	そういうことですね。
3:10:57	東北電力佐藤です。多分ねということだからさ見ていたかと思うんですけどもそちらについては再度確認して
3:11:05	御説明しましたしたいと思います。
3:11:42	はいでそこら辺の今どういうふうに考慮する形でまたちょっと条件とか、整理をください対応は、
3:11:51	なんか今の中側壁部っていう機構材料非線形で評価しているところが多かったんで、結構きつい結果が出てるという印象で、その影響というのは、班長

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	無視してるからこうかなでいつと類推したんですけどなんかちょっとそうでもそうだったんだよね。朝起ち決まっ結局材料非線形でやるから
3:12:10	あれですけども、はい、わかりやすく御説明を今後くださいっちゅうことと、
3:12:15	ちょっと話は変わるんですけども、資料 1 のですね、155 ページをちょっと開いていただいて、先ほどと説明があった中でですね、資料 1-155 の
3:12:30	キリュウ 8 の文字のところなんですけど。
3:12:33	ここで簿これらの補足説明資料として屋外土木の指針辺りつきだけなんです、屋外土木の話なのに、何か懸念突然防潮低が出てきて、何でだろうという内容はここに出てくる唐突感があるっちゅうと、そもそもなんで防潮点でも書かないんだろうと。
3:12:51	防潮ていうところになにがしか書いた上で防潮堤外からこっち人気があるべきで、さらにこの屋外土木の資料としても、
3:13:00	要は防潮堤内を一部含んでるなんていうか、冒頭にごとというか、この屋外土木の補足のとっぺんですか、比較なりした要は住み分けをきちっとしたほうがいいんじゃないかなと思うんですが、その点いかがですか。例えばジョイントフェーズの設定だとか、北海道からリンクしているところがあるじゃないですかね。
3:13:18	要は今まで前てるんですが、屋外土木、
3:13:21	その中に津波の施設が入っていて、
3:13:24	なんかもう機構ややこしくてそこをきちっと牛に仕分けをしなくてもまずこちらの水位ですけど、ちょっと互いにリンクを張るそういうふうな努力をちょっとやっていたきたいんですが、からですか。
3:13:38	東北電力佐藤です。特重の中で他の当初に関係するものが記載しているものについてはそちらとのひもづけですかね、当させていただきまして、それは相手側の図書についても同様に行いたいと思います。
3:13:54	以上です。
3:13:57	規制庁フジワラです。わかりました。そしたらちょっと等は、
3:14:03	スギハラからのクサカ開発を先に相違ありますけども、資料 1 のですね参考 11-1。
3:14:13	お開きください。
3:14:16	資料 1-参考 11-11 ですね。
3:14:20	ごめんなさい、星ですと、帰国頭の方。
3:14:25	ほんでこれちょっと夏からスギハラのコメントは、ここで書いてある資料とちょっと趣旨が若干ちょっと違うことに関するちょっと話しなさいよ。ものの資料 11-10 五つのなぜか応答等あと変位とかひずみというのは

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:14:41	まだきちんと整理したっていうものである。このような理解しましたので、スギハラ中のちょっと確認っていうのはですね、この 11-11 において、
3:14:52	これわーせん断ひずみか。
3:14:54	せん断ひずみが何かダクトの情報のもう一度自分は何かイトウひずみがちっちゃい良いような形と、
3:15:03	青いのがちょっと下垂れ下がっているような図になっている選択との情報で、これに対しての変位いい最大変位っていうのは
3:15:15	これ、
3:15:18	福生最大変位の
3:15:22	13 ページですか。
3:15:24	13 ページですね、13 ページに行くと
3:15:29	結構へん最大変位が何か大きくなって、
3:15:33	いうふうな現象がというような中ひずみと変位が何かちょっと若干ずれがあるんで、これについて何か概略的な考察が、
3:15:42	できないか。
3:15:44	もしかしたら変位は全体的に動いているからそういうふうな形になってるんだと思うんですけど、それちょっと今東北電力さんが考えられている。
3:15:53	内容とそれについて考察っていうのはちょっと今説明できたら、お願いできますか。
3:15:59	もっと言うと 11 ページのほうだと、地表面のひずみが 0 に対して 13 ページのほうは、地表面の変位が大きいと。
3:16:09	この差を説明ください。
3:16:13	東北電力佐藤です。地表面のひずみ 0 っていうのはそもそも地表面なんでひずみが発生しないということで、それはゼロかとこの変位との関連性に関してなんですわちょっと配当ダクトの町丁番分は置いておいた話になるんですけども。
3:16:30	基本的にはひずみが出ている箇所について、変位が出てきたものの数値が大きくなっていくので具体的に言うと、例えば A 棟排気ダクトの左端で言いますと、東岸板上面がひずみが 0.06 ということで、
3:16:46	一番トップがゼロになるんですけどもその間にひずみの最大せん断ひずみが偽造かこれ緑色なので、0.5% から 1% の幅を持ってある程度幅を持ったひずみが結構出ている。
3:17:04	高さがあると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:06	なのでここでひずみが全般的に出ています、同じく変位が左端で見ますと、ここも利用にあるんですけども、その部分でひずみがあったひずみがへと出ている部分に変わって変異が出ているというような形になっています。
3:17:23	はい。
3:17:25	気ダクトの頂部のすいませんひずみが、
3:17:33	少なくなってるっていうのはこのコンターで言う色がちょっと
3:17:37	青いところが排気ダクトのところ私ちょっと下に持ち込んでいるようなところということで、
3:17:43	おっしゃっているんですかね。
3:17:45	多分ここがせん断ひずみがちょっと分布が違うのが、いわゆる前個々のはい。
3:17:54	岩盤上の森とに関しては、全体が左右にせん断変形していこうとするときに、排気ダクトっていう構造物があることによって、そこが絞り込まれるような形なので、変形を阻害するようなところに排気ダクトがあります。
3:18:10	関係からひずみというのは一様に製品に行くのではなくて、その部分も排気ダクトの頂部であつたら、
3:18:20	だと赤い鉄塔
3:18:24	ちょっと引いているので見えにくいんですけども、頂部で 0.26 みたいに局所的に大きなひずみが出ていて、そこら辺のバランスなんなんだと思うんですけども、それに対して上のほうがちょっとへこんでいて、
3:18:37	こういった絵になってくるので構造物がなければ、当然横一方にひずみが同じような絵になるんですけども、ダクトがあつて変形を阻害するような堰堰と言えればいいんですか、あれなんですけども、そういうふうな形になっているのでこのような結果になると。
3:18:53	当庫さしております。以上です。
3:18:56	規制庁フジワラですが、説明のほうよくわかりました。じゃあこの点についてはスギハラにこれ言っときます。ここに考察ちゃう当然ちょっと追加しにくいと思いますので、
3:19:19	電力イトウでせん断ひずみのもので地表面についてはウェイ側から荷重かからないので剪断変形しないので。
3:20:07	東北電力イトウです岩盤部のひずみが 0.000 とちょっと誤記なのか、実際の数字なのかというのがちょっとわかりづらくなってますので、ちょっとここは数字が有効桁を調整するなどして
3:20:25	どれぐらいのひずみが出てののかというのがわかるような記載に修正させていただきます。以上です。
3:20:40	規制庁急いでその都市の方が引き続き、今後資料 3 の 165 ページで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:20:52	資料 3 の 165 ページですね。
3:21:01	ここで全応力という抗力に関して言うと日許容限界がここで記載があって、ちょっとこれどっかに書いてたらそのままそこへ教えて欲しいんですけども、全応力という抗力でそれぞれ何か異なる指標を使おうとされてるんですよね。
3:21:19	全応力のときは、
3:21:23	ひずみ 0 という抗力んときは、
3:21:27	こう含むとかでこの辺で何かそういう違いなんでこういうふうなものにするのかっていう違いをどっかに書いてあるところってあったんでしょうか。むしろかけたらいいんですけど書いてなかったと説明を追加とか必要かなと思うんですけど、まだちょっと、どこに書いてあるのかをちょっと説明いただけますか。
3:21:44	はい。違いといいますか許容限界に関して限界の説明している表の中で、
3:22:01	3-2 ですね、3-23 ページ適用規格基準というところに、こちら江藤とSERP ネットマひずみでやってるのか、降伏曲げてやっているのかっていうのは、
3:22:16	こちらには記載しております。
3:22:20	はい。て実際に
3:22:22	こちらの違いというのが解析モデルの違いということで有効応力解析っていうのがMIへやっております、当として
3:22:34	後で応力解析については、ファイバでやっておりますので、いわゆる解析出てくる規定まじよさせる出力されるえと値っていうのがもうマニュアル出てくるのかそれともひずみが出てくるのか、そのまま解析モデルの違いによるもの。
3:22:50	なっていて、ここの規格基準のところそれぞれ何に対して照査しますっていうのを聞かせていただいております。
3:22:58	以上です。
3:23:03	規制庁フジワラです。多分
3:23:07	会議室、
3:25:02	東北電力佐藤です。そこにそのどういったモデルを使っているという話につきましては資料 3-42 ページ、こちらのモデルの会にファイバーモデルであったりとかNφモデルの概念ということで、こちら見ていただければなといった
3:25:18	時荷重とかうるか出てくるのかっていうのは、わかるかと思えます。そこと協議会がひもづいているような形となっております。
3:25:30	9 条、要はこの資料 3-23 ページにこの備考で書いてあるようなものを採用したのは、例えば資料 3-42 で示すような等やモデルを用いるにはこういった許容限界を設定するのかそうするとちょリンクづけですから、てっぺんから資料のときに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:25:50	何か突然薄い資料 3-23 で何でいきなりこんななってんなんて言われたら、じゃあ、それが一つのリンクづけ後ろのほうの資料リンク見とったらわかるんですねという風に資料がわかりその観点での話だと思うんです。
3:26:05	なんかこういったひもづけですか、いう全応力解析はこういうファイバーモデルを使ってるから。
3:26:12	この協議会えさっていう一連の流れが何かこの資料 3-23 にもしあればわかりやすいのかなと思ったんですけど。
3:26:20	何か余って立てないですかね。
3:26:24	了解しまして、ここ、
3:27:47	そう。
3:30:04	はい、東北電力佐藤です。廃棄等連絡ダクトとかでと同じ
3:30:12	モデルの解析の中で当町が許容限界、記載しているので、それぞれモデルの違いによって今日限界の設定が違うことがわかるように、適用基準の所等とかで、前段のほうで
3:30:27	き裂協議会を抱えているモデルにより得と違っているのをわかるように記載させていただきたいと思います。以上です。
3:31:51	はい。時設備じゃないです。引き続きまして、当資料 3 の参考の 3-9
3:31:59	資料 3 の参考 3-9 と。
3:32:03	そうです。
3:32:16	はい。吸込全スギハラが繰り返してる断層の幅についての保守性ちゅうのが何か見えないっていう話を来こういうてまして実際こう断層の幅っていうのはあれですかね、兼六
3:32:33	設置許可の添 6 とかで使ってるもんだと思うんですけども、まずそういった検討もちょっと話を戻すというそもそもこの幅の設定についてどんな保守性があるかっていうのは今この資料としてなにがしか書いたほうがいいんじゃないかちゅうので。
3:32:49	それについては県 6 のほうでも保守的に設定してますみたいな、
3:32:53	今、結局何か審議の過程を踏まえて多分保守的な幅を多分使われてるんだと思うんですけどその辺で何かこう記載をちゃんともっと地域できないかっていうことなんです、この件、いかがでしょうか。
3:33:08	保安規定と東北電力佐藤です。途方修正ということで、いわゆる、6 で整理しているような単層の幅のことをおっしゃってるのか、解析上での話なのかによるかと思うんですけども、こちらの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:33:26	参考 3-9 ページの 3-2 の段落目のところに記載していますが、評価に使っているものがこそこそ直管粘土状物質Nodaサーバー支配的と考えられるものの、先ほどの新まで一体となって変形することから、
3:33:44	シンプルというのがサーバのほうについてモデル化するサブとして決定するということで、直下の粘土状物質の幅等深部を含めた断層の平均幅の大きいほうでモデル化するということとしておりますので、
3:33:59	一つはここで解析上というか岩相等の選定の保守性を持っております。以上です。
3:34:08	はい期中フジワラですが、ここにとって補正に関する記載があるということでは理解しましてちなみにすもん。
3:34:15	あれですかね直下都心部についての断層幅ちゃうとか、資料として入ってたんですね。
3:34:24	四国電力佐藤です。こちらの直下の幅とか、平均幅の整理につきましては、今回
3:34:32	資料としてお示していませんが資料 1 の中の参考資料の中で、断層幅の整理の資料が作成しております、そこで整理の仮定が記載しております。その結果を踏まえてこちら、3-10 ページの表 3-1。
3:34:48	直下の断層幅が幾らなのか、平均幅は幾らなのかということで表 III-1 でええと、寄付を使っていますけど、わかるように記載はしております。以上です。
3:34:58	はい、規制庁以上ですがわかりましたそしたらちょっとあの多分、
3:35:02	見る人が民友に行ったこの資料だけ見て何か要はどこで設定したのかわからないということであると思うので、そういったときは多分リンクを張るって今、例の適正化があると思うんでちょっとリンクを貼っていただくようお願いいただけますか。すいません東北電力佐藤です。そのリンクにつきましては参考 3-9 ページの
3:35:22	3-2-1 段落目で参考資料 4 を読み込んでおりますので、そこも一応記載をさせていただいております。失礼しました。これに関してはこれでよいかと思います。はい。
3:35:36	じゃあ、引き続きまして、参考資料 3 の参考 4-1。
3:35:44	開いてください。
3:35:55	そうしますけど、ちょっと
3:36:21	規制庁フジワラです。このですね参考資料 4 のところでは、地下水の設定による影響ということで、全応力解析を用いて評価をやってるっちゃう話なんですけど、これはあ、そうですかねなんか効力とかは切に全応力解析で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:36:40	良いとしているっていうことを代表できるっていうことについて何か説明がないでしょうか。特に何かこう、4-6 ではまとめのところでも何か全応力に限定した記載になってございまして、そのへんのか。
3:36:55	どんどん有効応力が除外できるというのちょっと説明いただけますか。
3:37:02	はい、東北電力佐藤です。本日全応力解析有効応力解析の排気という連絡ダクトで結果を示しておりますが、そちらでまず過剰間隙水圧比見ていただくと抵当 0.8 を下回るということで、
3:37:18	そもそも周辺の液化化等していないような状況になっておりますので、地下水の影響ということで影響検討として行っているのは、さらに地下水を下げるようになっておりますので、まさに液化化しにくいと思っておりますので、なので
3:37:35	また解析結果としても全力という抗力だと全応力解析のほうが厳しいので、影響検討でもし厳しい結果であるとしたら、有効応力解析ではなくて全応力解析のほうで出てくると思いますので、そういったことを踏まえて全応力解析によってこちらの影響検討を行っている形と、
3:37:54	です。
3:37:57	はい、規制庁扶助です説明の趣旨理解しまして津浪そういった分けはじめにのところですかね、4-1 のはじめにとかで何か簡単に触れることって可能でしょうか。
3:38:09	東北電力佐藤です。今御説明した内容を資料として設置させていただきたいと思います。以上です。
3:38:28	お付けしてもらった上でちょっと生業ください。
3:38:31	その次がですね、参考資料 3 の参考のAと 3-21。
3:38:39	お弁当開きください。
3:38:43	スギハラのコメントは以上でこっから受け渡しの確認ですげえ
3:38:50	3-21 からはばらつきですか、断層を考慮した評価案についてのばらつきをどれでやるかちゅうのがこれ書きありまして、断層考慮したハットリ連絡ダクトちのは土砂不等岩盤もの二つがあります。
3:39:08	っていうのが、岩盤の中の黄色ハッチングたくさんあるんですか。これたくさん改定と位相反転を考慮した地震動電磁波もついて基本ケース実施し、断層による影響を確認してこれはばらつきを考慮した。
3:39:24	なってんじゃ一方のこの 3 ポツ後の 1 行目に書いてある動作分の断面については、あんまりその辺がばらつきの話がちょっと書いてなくてですね、
3:39:36	それとあと今回の資料の 4 のほうですか。資料の 4.2-4 件使う計算書についても何かあまりそこら辺がちょっと記載がなく、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:39:46	同社負のこのばらつきが困難で要らないのかって、ここちょっとどうしてもつい南方そこ説明いただけますか。
3:39:53	はい、東北電力佐藤です。
3:39:58	まず、当当社分につきましては、基本検査①での、すみません、あとちょっとしゃべっていないとサブのA棟については9ケース①の水平度反転を考慮した受と14ノについて影響検討を実施しております。
3:40:15	その中で影響がないことから、ばらつきケースまでわざわざやらなくてもいいと考えておりました、そこで
3:40:24	また層の影響有無を確認しているという状況になっております。管板部につきましては、当添付書類に格上げして添付書類上だと管板部のほうが断層の影響が大きいという選定をもとに立ってへと影響が大きいので、
3:40:41	時本決算基準例えばケースを実施しているという形になっております。
3:40:46	影響検討のものなのか設計ケースなのかという違いでばらつきをやってやっていないという違いがあります。
3:40:52	こちらあのこの図書の中で同斜部と岩盤部併記して書いているんですけども、そののじゃなんで岩盤部があつてとばらつきまでやってるのっていうのを明記しておりませんでしたので、そちらについてはその違いがわかるように関らせていただきたいと思います。以上です。
3:41:13	規制庁のエザキですけども、今の話を変えていただく等にですね、多分なぜ岩盤厳しいかっていうと、完全ギロチン状態なんですよ、そういったことも踏まえてちょっとわかりやすさの観点で、そういったことも踏まえて、
3:41:29	そういった結果になってるっていうのはよくおっしゃった話ですね、いわゆるばらつきの影響が岩盤部のほうは影響が大きいって話だと思うんですけど。
3:41:39	基本的には土砂部分は県ごとにやらかい部分があるんで、そこは断層の関係はないので、基本的には赤いところにその辺は逃げていく部分があつて局所的な影響だけになるけれども、
3:41:51	断層は、上から下まで並びにギロチン状態になるんで非常に厳しい状態になると多分そういうことですよ、多分、平面としてそういうこともあつてですね、そういう結果を考察された結果が出てくると思うんです。
3:42:06	そういうことも踏まえてちょっとかえていただくとより理解が進むと思いますんで、それ今の解釈が正しければそそう言った解釈入れていただいで帰っていただければいいかなと思います。
3:42:20	はい、東北電力佐藤ですねと想定いたしました。一応ですね添付書類の別紙の概要の冒頭のところに、こういった理由で頑張つて影響が大きいんですよと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いうことは書かせていただいておりますので、そういったところと、あと今、イトウ、
3:42:39	と話していただきました土砂部分。
3:42:42	こうだからの影響が小さいんですよというところも追記させていただきたいと思います。以上です。
3:42:50	どう聞いてフランスわかりまして、ちょっと今別紙って話が出たんでスムーズに-3の資料、
3:42:59	これは何ですか。
3:43:02	添付地震応答計算書を添付のやつですね、ほんでこれ例ですね、何か
3:43:09	本当は何だろう、断層交差部っちゅうのは何かこう、
3:43:14	1個何か添付計算書としては別紙でなくて何か添付計算するし、開口盆だっても、或いは何か普通の計算溶け込むような形にも、
3:43:23	というような気がするんですけども、別紙っていう形態をとるっていう、その理由はちょっとあまりよくわからず、そもそも別紙ってどういう研究者以上別紙に続けてなんか。
3:43:37	あるんでしたっけ、例えば、この数ですけど、東北電力さんはこの工認図書の補足説明資料でこの
3:43:49	添付される現状目標とかの作り方あと基本設計方針の作り方と添付書類の作り方っていうのを整理しているかと思うんですけどその中で、別紙の扱っていくのが定義してましたケア要はなんかもうに別紙を乱雑欄増するのはいかがなものかっていうところがちょっと
3:44:06	ですね、その辺の中でいわゆる事故の位置付けをちょっと説明いただけますか。
3:44:12	はい。ですね、こちらの別紙審議させていただいているのがちょっとさ、
3:44:19	先行踏まえて整理をしたところも踏まえて、このような整理させていただいているんですけども、いわゆる選考の当高浜まであそこサブの影響あるパターンであっても、補足説明資料で整理しております。
3:44:36	ええと
3:44:38	美浜につきましては扁平に記載しております、先行の中でも整理の仕方が違っているっていうのが確認されてきております。
3:44:57	弊社においては基本的には排気塔連絡ダクトのという、構造物としてのサブ手当が丸の通常の評価としましては、標準的な断面になるんですけども、一方断層交差している部分っていうのが、それが
3:45:14	配当連絡ダクト全面をに接しているわけではなくて、局所的に接しているものということで、特殊な

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:45:26	特殊部ということで、アベCということで、標準断面とは違うんだけど、一方／ばらつきとかまで見てちゃんとへと評価しないといけないということで、別紙という位置付けにさせていただいております。
3:45:39	以上です。
3:45:42	時設置扶助ちょっと眼鏡等屋外土木構造物が何か代表断面の選定というのが一番ネックになって当然線状構造物のその周辺の地質地形や構造物のあるとかあったりしてその中で断層交差部の位置付けっちゃうのは何か。
3:46:01	どういう整理や、
3:46:04	何でしたっけっていうのが、
3:46:06	そっからちょっと戻るんですけどその辺いかがですかね。
3:46:09	単相交差部については資料1の中で、断層公差断面ということで、いわゆる通常の構造的に、
3:46:19	姑息的に厳しいのはどうかぶりが最大のところを選んでおりまして、またそこさってっていうのは交差している特殊部ということで、その断面を選定しているという整理しております。以上です。
3:46:33	私昔の代表断面の選定の過程でいくと、要は全部並立なのか並列じゃないのかっていう観点で申し上げます岩周辺の地質地形というもの、或いは構造の連続性っていうもの
3:46:48	あと、断層交差部っていうのはそれらと張れるのかそれともパネルじゃなくて何か工法をもうちょっと会議するものの、その辺で、別紙の扱いというのはちょっともうちょっとわかるかなと思ったんですね、辺等1ポツの資料の代表断面の選定の中での位置付けと
3:47:06	これが整合したらいいんですけど、それ整合、もし測り方今後測ればあっちを変えるで、こちらは別紙の数とかですね、というのもあるってあるかと思うんですけどその辺、また、総合している整理いただけたらと思うんですけど、よろしいですかね。
3:47:27	東北電カイトウでちょっと
3:47:31	コメントの趣旨も理解いたしましたので
3:47:35	土佐資料の1も含めて
3:47:38	わかるように体系づけたいと思いますけれども、今資料1のほうでも断層交差部というのは標準部から一段下げた扱いにしております、そういう意味で他の
3:47:51	断層部分もう影響検討はやってるんですけども、標準よりもっと厳しくなったこの岩盤部のみを添付のほうに記載をしているという位置付けになります、基本

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:48:06	補足説明資料のところでも標準部をやって、あと別枠データ単相影響っていうのを他の構造物の全部の断層が下にあるものをやってるんですけども、それについてはここ以外はすべて影響検討で終わらせているというそういう立て付けに整理をしております。
3:48:46	補足しますとはなかなかやった上で厳しかったので、添付 2 しますっていうのを添付には書けないので、
3:48:56	添付で、そもそもほかのやつをさ、外してここだけを岩盤部だけを標準として扱うというのがなかなかできない。
3:49:08	ということで今、別紙 1 っていうところで高影響がありそうだと推察されるのでここに書きますっていうそういう記載をさせていただいています。
3:49:22	いや、形状、整理の仕方は基本的にこの事業者の申請書でそれはそういう考えのもつつうのは変わりますただ一方でなんてすか代表。
3:49:34	その考え方っていうのは基本的に補足できちっと整理した上で、その結果を踏まえてですね、添付に持っていくっていうのが、これまでの流れかと思うので、別にこれが私的には別に別紙なくても添付の本体でもあまり違和感はなかったんですが別にそれは、
3:49:50	JNESさんの整理の仕方の話だと思いますのではい
3:49:54	そこら辺事業はですね、今後またきちっと
3:49:57	キリュウ
3:49:59	なってるかどうかだけ再確認いただけますようお願いします。はい。
3:50:03	じゃあ、
3:50:05	で、
3:50:07	その次はですね、
3:50:12	3 項、資料 3 の参考の 3-77。
3:50:30	それ、
3:50:31	早速、
3:50:42	ちょっと 1 個前の話に戻って恐縮なんですけどイトウ資料 3 の参考 3-77 において、まとめでさっき言った土砂部の影響がないっていうことについておっしゃることはわかりました。ただ、ちょっと影響がないことを確認する時大体これまでの中、今の補足の
3:51:00	重さ方だと何か要はももとの今添付に書いてある辺り E と今回の評価を一応並べて一覧表にわかりやすくした上で影響がないということを超簡単に見れるようにされてたんで、そういうのが何かあるとすごい
3:51:15	やすいなと思ったんですけど、何か隠すことなんかできたら、
3:51:19	いかがですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:51:23	はい、東北電力佐藤です。ですね。
3:51:27	標準断面と断層厚SERPの比較しているものが、本日はもつけていないんですけども、資料 1ー参考資料 4 の断層評価のところでは岩相交差する
3:51:40	当排気塔連絡ダクトの 2 断面と経由タンク室経由タンク室H-4 構造物に対して、標準断面、
3:51:50	ないし岩相モデル化していないものと仮想モデル化しているものと比較を行っておりますので、一方でこちらは補足説明資料で、いわゆる添付書類への記載しているものの、説明を
3:52:07	直接、
3:52:09	ているものと、あそこで示しているものの、影響検討を行っているものについての補足を行っているものという位置付けなので、その比較っていうところまで等記載して、
3:52:22	するとそうではないと思って。
3:52:25	こちらにはその比較は行っていない形となっております。
3:52:40	ていうと、影響検討を行っている塗装っていうのはこちらではなくて、資料 1ー参考資料 4 が、影響検討を行っている書類となっております。
3:52:50	はい。飽きちゃうんですが、そういうことですか。わかりました。じゃあ
3:52:53	そっちのほう素総合的に見ておきます。
3:52:57	私のほうから最後に持ってんだけれど資料 3 のですね、参考 4ー4、
3:53:04	開いていただいて、これわーですね審査会合コメントでも出してるよ地下水が低い場合の影響。
3:53:13	それについての何か結果がここで一応ヒアリングとしても出されてこれ今後、会合とかで多分すぐ出していただけるだろうと思うんですけど、ちょっとこれ、こないだの建築のときも言ったんですけども、設置圧とかいいので要らないんでしょうかっていう、要は評価対象の
3:53:32	評価項目か。
3:53:36	何か選定のなんか東加工理由が、
3:53:39	あるといいなと思いますけれども、これももしかしたらパーツなくて、地盤が悪い話かもしれないけど、一応ちょっと今ここで一般話をさせていただきますけどもまた今後こういった評価項目の代表についてはちょっと
3:53:55	整理をいただいて説明いただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
3:54:01	東北電力佐藤です。確かにこちらの図書の中に支持性能のところの捜査結果は記載してはいない形となっておりますので、基本的には地下水の影響というのはあまり視線に聞かないと思っておりましたので、記載しませんでしたという形と、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:54:20	以上です。
3:54:21	規制庁布田です。つまりは、建築家わかるんですけど、見る人によってはちゃんと評価項目が網羅できてるんですが漏らし代表ができてるんですかっていうふうに関今日長期にちょっとその説明ができるようにしたいというのが趣旨ですんで想定がご理解
3:54:38	皆さん、よろしいんでしょうか。はい、東北電力さという説明が不足して申しわけなく、ごさいませんと支持性能についても結果出しておりますのでそちらもこちらに配布する形とさせていただきますと思います。以上です。
3:55:03	規制庁フジワラです。こちら規制庁側からは以上でして、東北電力さんの方からの確認等ごさいますでしょうか。
3:55:14	東北電力覚特段ごさいません。
3:55:18	これ東北電力のサイトウですのでからですけども、先ほどの排気ダクトの感知器んの話なんですけども、結局 29 が入っております。
3:55:31	ピッチでやってます。以上です。
3:55:34	回答資料のページをちょっと言っていたいてもらってよろしいですか。
3:55:50	少々お待ちください。資料 3-5 今のこちらのほうでにつきましては、
3:55:57	はい。
3:56:00	思いますけど経常ベースで拝見を記載しておいてください。
3:56:05	電力佐藤です。当 P29 の記載をさせていただきますと思います。以上です。
3:56:25	はい。
3:58:31	規制庁フジワラです。
3:58:34	じゃあ、ちょっと 1 点ちょっと私どう防潮平均とこでいいですかちょっと 1 個ございまして、今防潮平均の担当だからって言う等ください今のいらっしゃいますか。
3:58:45	バック本店からベンノでございまして。今ちょっと読んで参りますので少しいたいてよろしいでしょうか。すぐ参ります。
3:58:53	特にベルクの松永って政党統計のほうでは聞いておりました。
3:58:59	了解しました。
3:59:02	えーとですね。ちょっと防潮ウエキのところちょっと 1 点だけ傍聴抵当防潮平均の取合部のところなんですけども、あれって高高組合こう構成の壁の下ですね、ボイリング用の中に入れて、
3:59:19	やってるんですけどあの図を見ると何かあまりに例がないような気がしててですね、その辺をちょっと今後見ていただきますが、いわゆるボイリングの評価が要らないんですかということなんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:59:33	使って東北電力の松永です。はい。ご指摘の通り、ちょっと今回の資料に入れておりませんでしたので、次回説明させていただきます。
3:59:43	わかりました。
3:59:44	じゃあ、
3:59:46	今日のヒアリングに関してはそうします。
3:59:51	規制庁のエザキですが、ちょっとでも以前もコメント上げてるんで、コメント話で、1号をコメント整理表の28ページですかの93番。
4:00:06	これは8月Ⅱに該当てということになっているんですけど、一応もう大分話が進んできているので、ちょっともう一度、
4:00:18	医師のコメントと総会等の意思疎通という観点でちょっと確認しますが、以前の構造解析におけるせん断と曲げ含めてですね、要はによりますけども、
4:00:33	照査時刻の選定の話なんですよね、これっていうのは向こうがひどかった観点では柏崎と違って自動計算で一番厳しい時刻を時時刻歴の中から算出してくるっていうわけではなくて、
4:00:52	ある程度時刻を決め打ちして選んでるっていう解釈でした。
4:00:58	それとですね。
4:00:59	について照査をしております、ただおそらく当社では等価せん断スパン比使っておりませんので、せん断耐力式でNGだったらもうすぐ直でだぶり込む材料非線形解析のほうにいきますので、
4:01:17	そういう意味でエクセルベースで全部計算が全時刻済んでしまうところなんです。でなければ層全時刻一応算定した上で、厳しいところ取ってきているということがある程度わかるようなフローとか、
4:01:31	示していただく必要があると思うんで、考え方ですよ。だから三次元するときにはその荷重選定していると、ある時刻で出そうと正しさを今確認してしてるんですけど。
4:01:45	それで、一方で二次元に関してはそう力の選定のプロセスに関しては確認はしていないので、それを基本的に確認させて欲しいんで。
4:01:55	ほか初動期するときには、すべて自動計算ってことだったんで、逆に言うと、クラブの検証という形で確認してV&Vで確認した塗装、そういう形にしたんで、
4:02:08	今回はそうEXCELという形になるんですけど、でも、少なくともその考え方そう。
4:02:15	要は、スクリーンアウトするところって基本的に我々維持一番見なきゃいけないところになるんで。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:02:21	そこだけは考え方の正しさとかそういったことがしっかりと確認させていただきたいと思いますので、それはまた追ってまた準備ができた段階で説明していただければと思います。
4:02:34	6.6 イトウです。すいませんこれ今日提出の来週のコメントリストに確か記載したように思うんですけども、二次元については今のことを説明した内容を8月に記載させていただこうと思っておりますので、
4:02:49	三次元につきましてはプログラムを開始して
4:02:54	最大ひずみとかを照査してますので、30についてはV&Vでプログラムを二つ追加させていただくというそういう方針で8月に説明は、
4:03:05	を予定しております。以上です。
4:03:08	規制庁のエザキです。理解しました。
4:03:20	時直上にですね、じゃあ、特にボックス方法ないようですので、若干ヒアリング以上とさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。